FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix 6900Z

準　備　編　1

基　本　編　2

応用編　撮影　3

応用編　再生　4

設　定　編　5

PC接続編　6

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックス 6900Zの使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

目　次

はじめに……4
カメラの特長/付属品……5
各部の名称……6
シャッタースピード・絞り値表示について……11

1 準備編

レンズキャップとショルダーベルトを取り付けます……12
　レンズキャップホルダーを使う……13
バッテリーをセットします……14
バッテリーを充電します……15
ACパワーアダプターで使う……16
スマートメディア™をセットします……17
スマートメディア™を取り出します……18
電源のON/OFF……19
日時を合わせます……20

2 基本編

撮影してみましょう(オート撮影)……22
　撮影可能枚数について……27
AF/AEロック撮影……28
ベストフレーミング機能……30
画像を見るには(再生)……31
画像の早送り……32
再生ズーム……33
　トリミング保存……34
マルチ再生……35
画像を消すには(1コマ消去)……36
テレビに画像を映すには……38

3 応用編 撮影

応用編 撮影では……39
　■撮影モード仕様一覧……39

撮影モード

AUTO オート/SP シーンポジション……40
　人物……41
　風景……41
　スポーツ……41
　夜景……41
　BW モノクロ……41
P プログラム/S シャッター優先/A 絞り優先……42
　プログラムシフト……43
M マニュアル……44
　シャッタースピード設定……44
　絞り値設定……45
ムービー(動画)……46
ストロボ撮影……49
　オートストロボ……50
　赤目軽減ストロボ……50
　強制発光ストロボ……51
　スローシンクロ……51
　赤目軽減＋スローシンクロ……51
　ストロボ発光禁止……52
マクロ(近距離)……53
AE-L AEロック……54
露出補正……55
マニュアルフォーカス……56
　ワンプッシュAF機能……57
　フォーカス確認機能……57
デジタルズーム……58
連写……59
セルフタイマー撮影……60
撮影インフォメーション……62

撮影メニュー
撮影メニューの操作 …… 63
ストロボ(光量補正) …… 64
ホワイトバランス …… 64
カスタムホワイトバランスの設定 …… 65
測光モード …… 67
感度 …… 68
オートブラケティング …… 68
シャープネス …… 70
多重露光 …… 70
外部ストロボ …… 72
外部ストロボの設定 …… 73
ホワイトバランスが合わない場合 …… 74

4 応用編 再生

応用編 再生では …… 75
■再生モードメニュー一覧 …… 75
再生インフォメーション …… 76
ムービー(動画)再生 …… 77
■ムービー再生操作方法 …… 78
再生メニュー
1コマ・全コマ消去/フォーマット …… 79
オートプレイ(自動再生) …… 81
1コマプロテクト設定/解除 …… 82
全コマプロテクト設定/解除 …… 84
スマートメディア™の誤記録防止について …… 85
DPOFについて …… 86
日付設定 …… 87
1コマ設定 …… 88
確認/解除 …… 90
全コマ解除 …… 91

5 設定編

設定編では …… 93
■SETーUPメニュー一覧 …… 93
SET セットアップ画面の操作 …… 94
SET ピクセル(画像サイズ)/クオリティー(圧縮率) …… 95
SET 撮影画像表示 …… 96
プレビューズーム …… 96
記録画像の選択 …… 97
SET オートパワーセーブ設定 …… 98
SET コマNO.メモリー設定 …… 99
画面の明るさ調節 …… 100

6 PC接続編

PC接続編では …… 101
パソコンと接続するには …… 102
パソコンと接続を切るには …… 104
カメラカスタマイズ …… 105

システムアップ機器(別売) …… 106
コンバージョンレンズ/アダプターリングの紹介 …… 107
その他 別売アクセサリーの紹介 …… 108
用語の解説 …… 110
使用上のご注意 …… 111
電源についてのご注意 …… 112
バッテリーについてのご注意 …… 112
ACパワーアダプターについてのご注意 …… 114
スマートメディア™についてのご注意 …… 115
警告表示 …… 117
故障とお考えになる前に …… 120
主な仕様 …… 123
アフターサービスについて …… 125

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを
大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意
あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やデータの記録されたメモリーカード（スマートメディア）の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について
液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- **皮膚に付着した場合：**
  付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- **目に入った場合：**
  きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- **飲み込んだ場合：**
  水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意
- 本製品はクラスB情報技術装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しています。しかし本製品をラジオ、テレビジョン受信機に近づけてお使いになると、受信障害の原因となることがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
  使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて
本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像データが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について
- iMac、Macintoshは、Apple Computer, Inc.の商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- SmartMediaは株式会社 東芝の商標です。
- その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

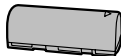
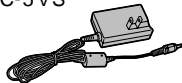
カメラの特長 / 付属品

カメラの特長

- 新開発“ スーパーCCDハニカム ”(総画素数：ハニカム配列の約330万画素)搭載により記録画素数約603万画素の高画質
- 非球面レンズを採用した高性能光学6倍ズーム搭載一眼方式
- スーパーCCDハニカムの特長を生かした13.2倍ハニカムズーム(光学6倍ズームとメガピクセル時最大約2.2倍のなめらかな(多段階)デジタルズーム機能併用)
- マニュアル露出を含む多彩な撮影モードで細かな条件設定が可能
- 起動約3秒、撮影間隔最短約1秒と軽快な操作感
- 最高感度ISO 400(標準ISO 100)と内蔵ストロボにより撮影領域を拡大
- 外部ストロボ使用可能
- マクロ撮影機能付きオートフォーカス(マニュアルフォーカス可能)
- 被写体に適した条件を設定できる撮影シーン別オート撮影モード
- 撮影結果の確認に便利なプレビュー機能
- 最大画素数でも可能な連写機能
- ヒストグラム表示機能により撮影後、即座に露光状態を確認可能
- トリミング保存機能で欲しい部分を切りだし可能
- 再生ズーム機能(最大18倍)
- 撮影表現を広げる多重露光機能、黒白撮影機能
- 必要なときにワンプッシュで設定状態の一覧ができるインフォメーションボタン
- マグネシウム合金ボディ
- USB接続端子により簡単高速にパソコンへ画像データ転送が可能
- 簡単プリントを実現するDPOF(Digital Print Order Format)対応
- デジタルカメラの業界統一規格DCF*準拠

 ＊DCFは電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

付属品

- **充電式バッテリー NP-80** 容量1300mAh(1本)

- **ACパワーアダプター AC-5VS**
 接続コード：約2m(1台)

- **ショルダーベルト(1本)**
- **レンズキャップ(1個)**
- **レンズキャップホルダー(1個)**

- **ビデオケーブル**
 φ3.5mmミニプラグ×ピンプラグ：約1.5m(1本)

- **USBインターフェースセット(1式)**
  - CD-ROM：Software for FinePix EX(1枚)
  - 専用USBケーブル(1本)
  - ソフトウェア取扱ガイド(1部)
- **使用説明書**(本書1部)
- **安全上のご注意**(1部)
- **保証書**(1部)

各部の名称

＊（　）内のページに詳しい説明があります。

AE-L（AEロック）ボタン（P.54）
[◉]（フォーカス確認）ボタン（P.57）
EVF/LCD（ファインダー/
モニター切り換え）ボタン
（P.22、31）
液晶ファインダー（EVF）
DISP（表示）ボタン
（P.30、35）
SHIFT（シフト）ボタン
（P.95、100）
液晶モニター（LCD）
BACK（戻る）ボタン
三脚用ねじ穴
十字（▲▼◀ ▶）ボタン
バッテリーカバー
（P.14）
MENU/OK（メニュー/実行）
ボタン
コマンドダイヤル
ベルト取り付け部（P.12）
スロットカバー（P.17）
スマートメディア
スロット（P.17）

ストロボ調光センサー
ストロボ（P.49）
ストロボポップアップボタン（P.49）
レンズ部
フォーカスモード切り換えスイッチ（P.22、56）
ズームボタン（P.23）
T：望遠（テレ）
W：広角（ワイド）
（露出補正）ボタン（P.55）
（AF／カスタムホワイトバランス）ボタン（P.57／P.65）
デジタル（USB）端子（P.102）
VIDEO OUT（映像出力）端子（P.38）
DC IN 5V（電源入力）端子（P.16）
端子カバー（P.15）
INFO（情報確認）ボタン（P.62、76）

モードレバー

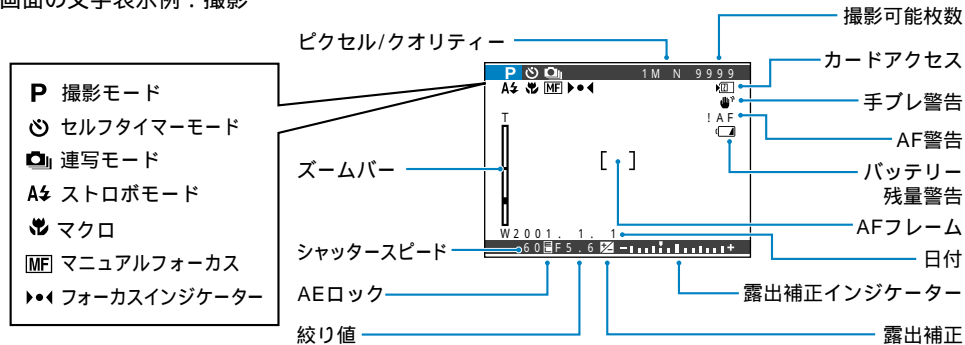
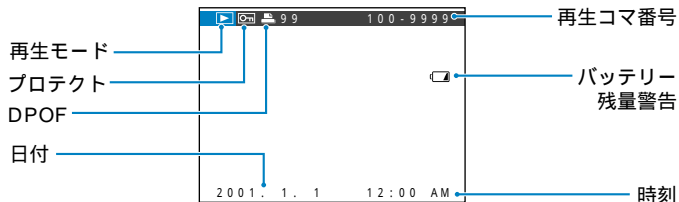
モードダイヤル

各部の名称

画面の文字表示例：撮影

- P　撮影モード
- セルフタイマーモード
- 連写モード
- A ストロボモード
- マクロ
- MF　マニュアルフォーカス
- フォーカスインジケーター

ピクセル/クオリティー
撮影可能枚数
カードアクセス
手ブレ警告
AF警告
バッテリー残量警告
AFフレーム
日付
露出補正インジケーター
露出補正
ズームバー
シャッタースピード
AEロック
絞り値

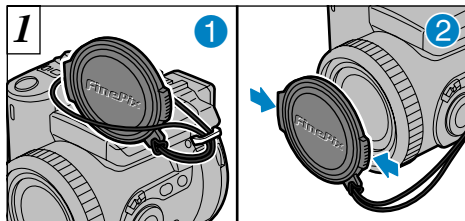
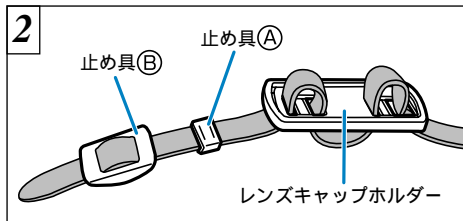
P　1M　N　9999
! AF
T
W
2001.　1.　1
60　F5.6

画面の文字表示例：再生

シャッタースピード・絞り値表示について

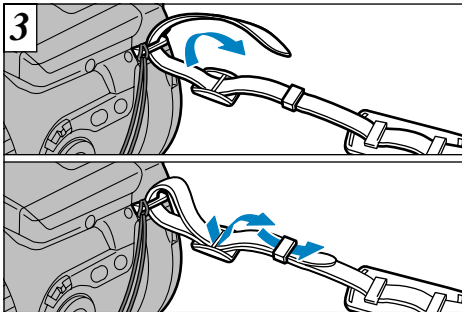
撮影モードの制御範囲を超えてしまう場合（極端な露出オーバー・露出アンダーの撮影シーンなど）、画面内の“シャッタースピード”または“絞り値”が「赤色」で表示されます。
薄暗いシーンでは、画面内の“シャッタースピード”と“絞り値”が「----」表示になります。その場合シャッターボタンを半押しすると測定されて、値が表示されます。

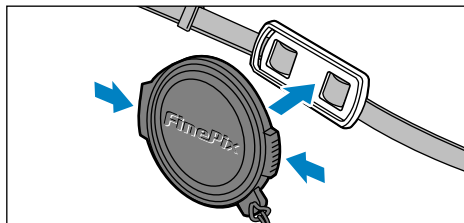
■撮影モードと対処方法

	撮影モード	対処方法
露出オーバー	AUTO（オート） SP（シーンポジション） P（プログラム）	別売の“アダプターリング”と“ND（光量調節用）フィルター”を使用してください（➡107ページ）。
	S（シャッター優先）	より高速側のシャッタースピード（〜1/1000秒）に設定してください（➡42ページ）。*1
	A（絞り優先）	より大きい数値の絞り値（〜F11）に設定してください（➡42ページ）。*1
	M（マニュアル）	より高速側のシャッタースピード（〜1/1000秒）、より大きい数値の絞り値（〜F11）に設定してください（➡44ページ）。*1
露出アンダー	AUTO（オート） SP（シーンポジション） P（プログラム）	ストロボ撮影をしてください。
	S（シャッター優先）	より低速側のシャッタースピード（〜3秒）に設定してください（➡42ページ）。*2*3
	A（絞り優先）	より小さい数値の絞り値（〜F2.8）に設定してください（➡42ページ）。*2*3
	M（マニュアル）	より低速側のシャッタースピード（〜3秒）、より小さい数値の絞り値（〜F2.8）に設定してください（➡44ページ）。*2*3

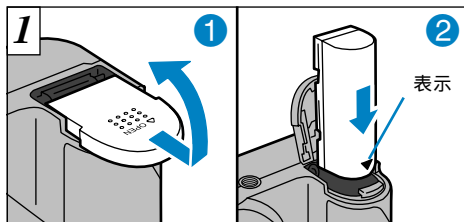
＊1　設定値を変更しても露出オーバーの場合、別売の“アダプターリング”と“ND（光量調節用）フィルター”を使用してください（➡107ページ）。
＊2　設定値を変更しても露出アンダーの場合、ストロボ撮影をおすすめします（➡49ページ）。
＊3　ストロボを使用しない場合、シャッタースピードが低速になるので三脚の使用をおすすめします。

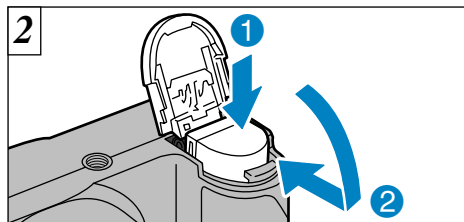
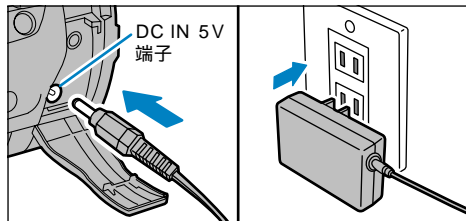
レンズキャップとショルダーベルトを取り付けます

❶レンズキャップのヒモをベルト取り付け部に通して取り付けます。
❷レンズキャップは左右を押しながら取り付け、取り外します。

ショルダーベルトから止め具Ⓐ・Ⓑを片側だけ外してレンズキャップホルダー、止め具Ⓐ、止め具Ⓑの順にショルダーベルトに通します。

! レンズキャップをなくさないように、ヒモの取り付けをおすすめします。

ショルダーベルトをベルト取り付け部に取り付けます。取り付け後は、ショルダーベルトが外れないことを十分にご確認ください。

レンズキャップホルダーを使う

撮影時はレンズキャップの写り込みを防ぐため、レンズキャップをレンズキャップホルダーに取り付けます。

! 取り付けかたを間違えると落下する場合があります。

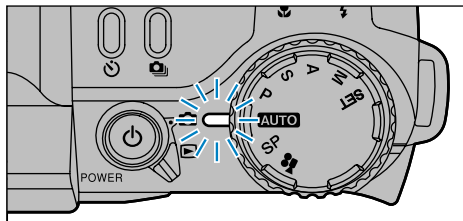
バッテリーをセットします

❶バッテリーカバーをスライドさせて開けます。
❷バッテリーの‘▼’表示がある側からバッテリーを入れます。

❶バッテリーを押し込みながら❷バッテリーカバーを閉めます。

! バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。
! バッテリーを交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。

◆使用するバッテリー◆

充電式バッテリー NP-80　1本

! 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
! バッテリーについてのご注意は112、113ページをご参照ください。

バッテリーを充電します

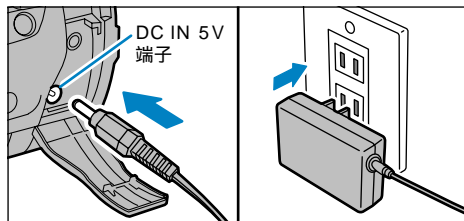
カメラの電源が切れていることを確認します。端子カバーを開け、ACパワーアダプターの接続プラグを“ DC IN 5V ”端子に奥まで差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

インジケーターランプ(橙)が点灯し、バッテリーの充電が開始されます。完了するとインジケーターランプが消灯します。

- 弊社専用品以外をご使用になった場合の不具合は保証いたしかねます。
- ACパワーアダプターについてのご注意は114ページをご参照ください。

- 使いきったバッテリーの充電時間は約5時間です。
- フル充電に近いバッテリーは充電しませんが故障ではありません。
- 充電中に電源を入れると充電が中断されます。
- 別売のバッテリーチャージャーBC-80を使用すると充電時間を短縮できます(➡108ページ)。

ACパワーアダプターで使う

ACパワーアダプター AC-5Vを接続すると、バッテリーの消耗を気にせず撮影・再生（テレビ接続時など）・PC接続や充電も可能ですので、旅行先などで便利です。

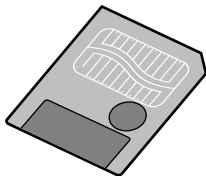
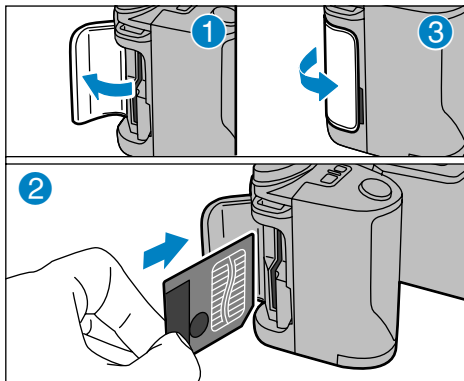
●使用可能なACパワーアダプター
型名：AC-5VS（付属品）、AC-5VH、AC-5VN、AC-5V

カメラの電源が切れていることを確認します。端子カバーを開け、ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 5V”端子に奥まで差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

! 使用説明書では「ACパワーアダプターAC-5V」と表記しています。
! AC-5VS、AC-5VH、AC-5VNは海外で使用できます（➡114ページ）。
! 弊社専用品以外をご使用になった場合の不具合は保証いたしかねます。
! ACパワーアダプターについてのご注意は114ページをご参照ください。

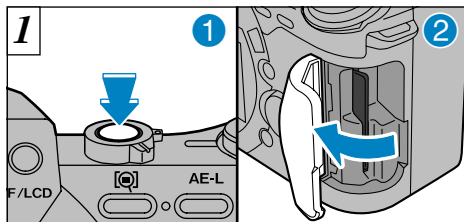
スマートメディア™をセットします

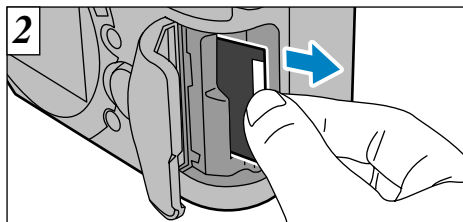
スマートメディア™（別売）

スマートメディアは必ず3.3V仕様をお使いください。

●MG-4SB（4MB）
●MG-8SB（8MB）
●MG-16SB（16MB）
●MG-32SB（32MB）
●MG-16SW（16MB：ID付き）
●MG-32SW（32MB：ID付き）
●MG-64SW（64MB：ID付き）
●MG-128SW（128MB：ID付き）

❗ライトプロテクトシールがはられていると、記録、消去ができません（➡85ページ）。
❗本カメラでの動作保証は弊社製スマートメディアのみとなります。
❗3.3V仕様品の中には「3V」または「ID」という表示のものがあります。
❗スマートメディアについてのご注意は115ページをご参照ください。

①電源が切れていることを確認します。スロットカバーを開けます。
②スマートメディアスロットにスマートメディアを確実に奥まで差し込みます。
③スロットカバーを閉めます。

❗電源が入った状態でスロットカバーを開けると、スマートメディア保護のため電源が切れます。
❗スマートメディアの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

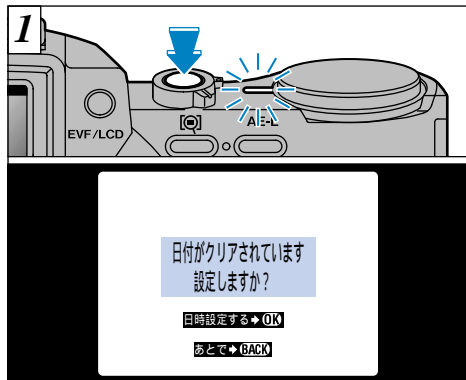
1

スマートメディア™を取り出します

❶インジケーターランプが緑色に点灯していることを確認し、電源を切ります(➡19ページ)。
❷スロットカバーを開けます。

スマートメディアをつまんで取り出します。

スロットカバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。スマートメディア、または画像データが破壊されることがあります。

❗スマートメディアを保管するときは、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。

◆画像のプリントとパソコンへの取り込みについて◆

- プリントするときは、86、106ページをご参照ください。
- パソコンに画像を取り込むには、101〜104ページをご参照ください。

電源をON（入）/OFF（切）するには“ ⏻ ”（電源）ボタンを押します。電源を入れるとインジケーターランプ（緑）が点灯します。日付がクリアされている場合は、確認画面が表示されます。

日時設定する➡OK：日時設定画面になります（➡21ページ）。

あとで➡BACK：撮影または再生モードになります。

❗日時を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。

電源を入れバッテリー容量表示を確認します。

❶バッテリーの容量は十分です（表示なし）。

❷バッテリーの残容量は約半分以下です。

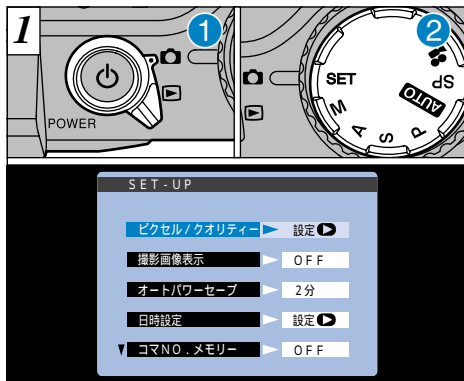
❸バッテリーの容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、バッテリーを交換するか充電をおすすめします。

❹バッテリーの容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。バッテリーを交換するか充電をしてください。

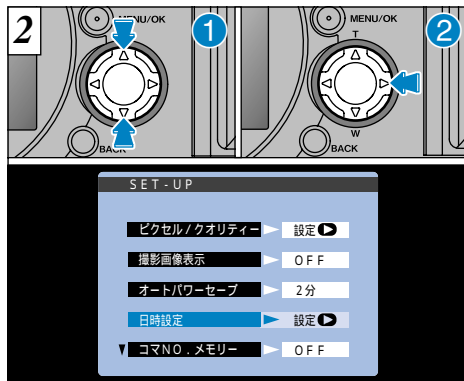
❗モードレバーを“ 📷 ”にして電源を入れると、レンズ部が動きますので手で押さえないでください。

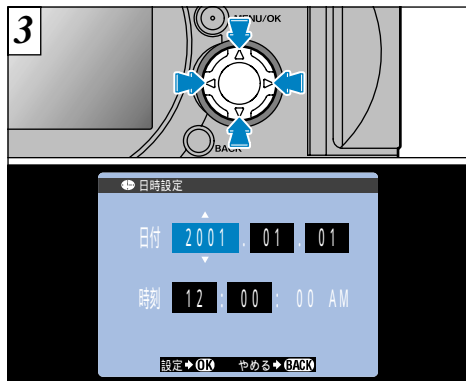
◆オートパワーセーブ機能◆

機能有効時は、約30秒間操作をしないと画面などを消し、消費電力を抑えます。その後、しばらく放置（2分または5分）すると自動的に電源が切れます（詳しくは➡98ページ）。

日時を合わせます

❶モードレバーを“ ”にし、❷モードダイヤルを“ SET ”に合わせます。SETーUP（セットアップ）画面が表示されます。

❶“ ▲▼ ”で“ 日時設定 ”を選びます。
❷“ ▶ ”を押します。

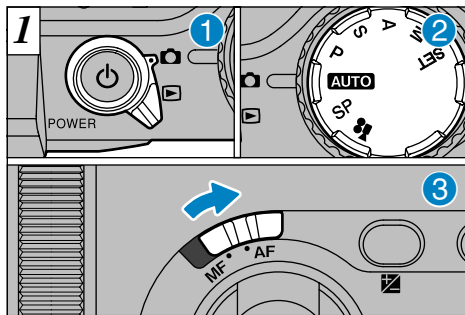
日付がクリアされていて“ 日時設定する ”を選んだ場合は、3から操作します（➡21ページ）。

“ SET ”（セットアップ）のメニューについて、詳しくは93ページをご参照ください。

設定した日時は、ACパワーアダプターを接続またはバッテリーを入れて約3時間以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約1時間保持されます。

“ ◀▶ ”で合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、“ ▲▼ ”で修正します。

“ MENU/OK ”ボタンを押して設定します。SET－UP画面に戻りますので、モードダイヤルを“ SET ”以外に合わせてSET－UPを終了します。

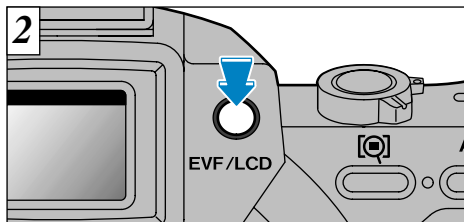
- “ ▲ ”または“ ▼ ”を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時刻表示で“ 12:00:00 ”を越えると、自動的にAM/PMが切り換わります。
- 秒は設定できませんが、時報に正確に合わせるにはゼロ秒時に“ MENU/OK ”ボタンを押します。

日付がクリアされていて確認画面から日時設定をした場合、“ MENU/OK ”ボタンを押すと、選ばれている撮影モード、または再生モードになります。

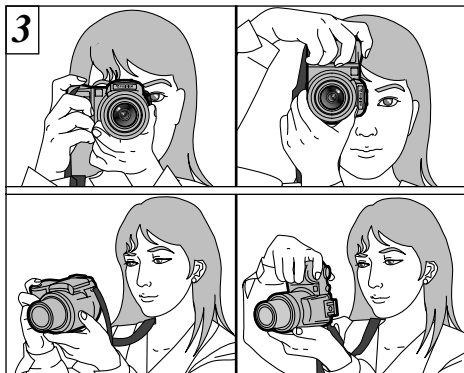
撮影してみましょう（オート撮影）

①モードレバーを“ 📷 ”にし、②モードダイヤルを“ AUTO ”に合わせます。③フォーカスモード切り換えスイッチを“ AF ”側にスライドします。

●撮影可能距離
広角側：約50cm～無限遠
望遠側：約90cm～無限遠

! 近距離撮影ではマクロを設定してください（➡53ページ）。

! レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は、111ページを参照してレンズをきれいにしてください。

“ EVF/LCD ”ボタンを押すたびに、ファインダー（EVF）とモニター（LCD）のどちらを使用して撮影するか切り換えできます。

! “ CARD ERROR ”“ CARD NOT INITIALIZED ”“ WRITE ERROR ”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面（金色の部分）を乾いた柔らかい布などでよくふいてから、再度セットしてください。また、フォーマット（➡79ページ）が必要な場合があります。

EVF/LCDの切り換え設定は、モード切り換え・電源OFFでも保持されます。

ショルダーベルトを肩に掛けます。右手でグリップ部を持ち、左手でカメラをしっかり支えます。

ズームボタンか十字（▲▼）ボタンでズームできます。望遠にするにはT側を押します。広角にするにはW側を押します。このとき画面に“ズームバー”が表示されます。

- 一般的な撮影では、オートストロボの使用をおすすめします（➡50ページ）。
- 撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。とくに、暗い場所で撮影する場合は手ブレ防止のためストロボ撮影（➡49ページ）を行うか、三脚の使用をおすすめします。

- 光学ズームとデジタルズーム（➡58ページ）の切り換わり時は、いったんズームが止まります。
- 縦位置撮影では十字ボタンでのズーム操作をおすすめします。
- 焦点距離が約35mm〜約210mm相当（35mmカメラ換算）の光学6倍ズームです。電源を入れたときの焦点距離は約50mm相当です。

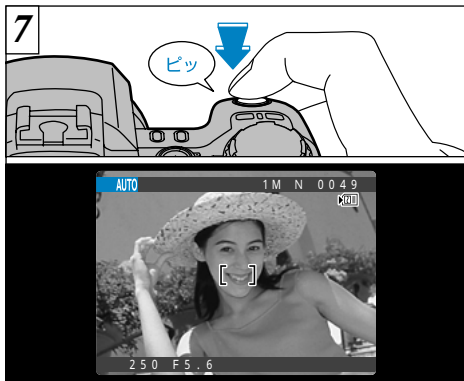
5

被写体がAF(オートフォーカス)フレーム全体を満たすようにねらいます。

6

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います。そのとき画面のAFフレームが小さくなり、シャッタースピード/絞り値が決定されます。

- “ピピッ”と音が鳴らずに画面に“❗AF”が表示されたときは、ピントが合っていません。
- シャッターボタンを半押しすると、一時的に画面の映像が止まりますが記録される画像とは異なります。
- “❗AF”が表示された場合(暗くてピントが合わないなど)、被写体から2m程度離れて撮影してください。

- 被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください。(➡28ページ)

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込むと（全押し）、“ ピッ ”と音が鳴り撮影されます。“ ”が表示され画像ファイルが記録されます。

! 画面に“ ”が表示されているときは画像記録中です。スマートメディアを抜いたりしないでください。
! 撮影可能枚数が「赤色」のときは、「白色」になるまで撮影できません。
! 撮影するとインジケーターランプが橙色に点灯し（撮影不可）、その後緑色に変わると撮影できます。

◆AF撮影について◆

ピントが合わない場合は、AFフレームは変化しますが“ ピピッ ”音は鳴りません。ピントを合わせるには

- AF/AEロックを使用し、ほぼ同じ距離と明るさの被写体にピントを合わせます（➡28ページ）。
- マニュアルフォーカス（➡56ページ）を使用し、ピントを合わせます（ワンプッシュAF機能で、ほぼ同じ“ 距離 ”の被写体にピントを合わせると便利です➡57ページ）。
- 暗くてピント合わせができない場合は、被写体から2m程度離れて撮影してください。

! シャッターボタンをいっきに全押しすると、AFフレームは変化せず“ ピピッ ”音は鳴りませんが撮影されています。
! ストロボ充電中はインジケーターランプが橙色に点滅します。
! 警告表示については117ページをご参照ください。

■インジケーターランプ表示について

色	状 態	内　　容
緑	点 灯	準備完了
	点 滅	AF・AE動作中または手ブレ、AF警告、スマートメディアに記録中（次の撮影可能）
橙	点 灯	●スマートメディアに記録中（次の撮影不可） ●バッテリー充電中
	点 滅	ストロボ充電中
赤	点 滅	●スマートメディアについての警告未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、ライトプロテクトシールがはられている、空き容量がない、スマートメディア異常 ●バッテリー充電動作異常 ●レンズ動作異常

＊画面に詳しい警告が表示されます（➡117ページ）。

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

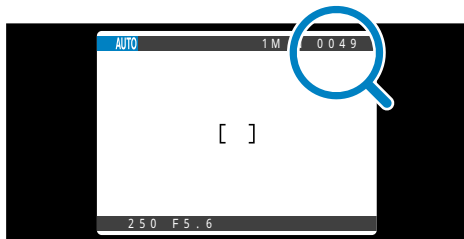
このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- 鏡・車のボディなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が暗いとき
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- AFフレーム付近に主被写体の他に明暗差がハッキリしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）
- 高速で移動する被写体

このような場合にはAF/AEロック（➡28ページ）、またはマニュアルフォーカス（➡56ページ）をお使いください。

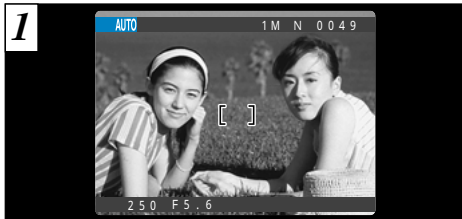
撮影可能枚数について

画面に撮影可能枚数が表示されます。

- ピクセル（画像サイズ）/クオリティー（圧縮率）の変更は、95ページをご参照ください。
- 工場出荷時設定は、1M（ピクセル）、NORMAL（クオリティー）です。

■スマートメディア™標準撮影枚数

（被写体によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。また、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。）

ピクセル	6M 2832×2128				3M 2048×1536		1M 1280×960		VGA 640×480
クオリティー	HI	FINE	NORMAL	BASIC	FINE	NORMAL	FINE	NORMAL	NORMAL
画像1枚のファイルサイズ	約17720KB	約2400KB	約1200KB	約460KB	約1300KB	約590KB	約620KB	約320KB	約90KB
MG-4S（4MB）	0	1	3	8	2	6	6	12	44
MG-8S（8MB）	0	3	6	17	6	13	12	25	89
MG-16S（16MB）	0	6	13	33	12	26	25	49	163
MG-32S（32MB）	1	13	28	68	25	53	50	99	330
MG-64S（64MB）	3	26	56	137	50	107	101	198	663
MG-128S（128MB）	7	53	113	275	102	215	204	398	1330

＊スマートメディアをフォーマットした状態の撮影可能枚数です。

AF/AEロック撮影

このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

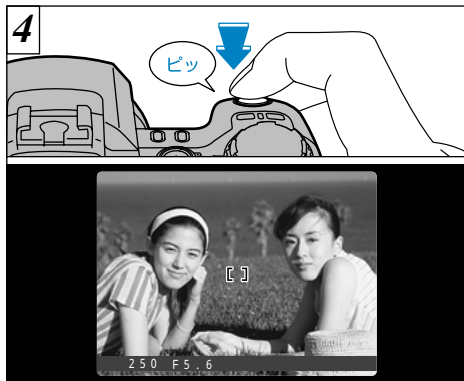
被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

フォーカスモード切り換えスイッチが“AF”側になっていることを確認してください。

◆AF（オートフォーカス）/AE（オートエクスポージャー）ロック◆

このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影するときれいに撮影できます。

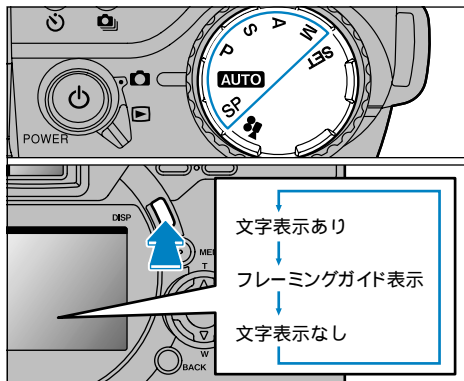
● AFでピントが合わず、AF/AEロックで適切な露出で撮影できない場合
AFフレームを主被写体に合わせてAEロック（➡54ページ）します。AFフレームをほぼ同じ距離の被写体に合わせシャッターボタンを半押しし、構図をし直して撮影します。

そのままシャッターボタンを半押し(AF/AEロック)します。画面のAFフレームが小さくなり、"シャッタースピード/絞り値"が決定されます。

シャッターボタンを半押し(AF/AEロック)のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

2

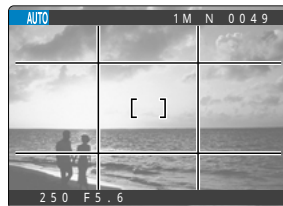
❗ AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

❗ AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

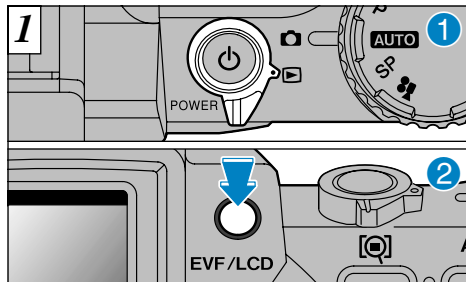
ベストフレーミング機能

“ AUTO ・SP ・P・S・A・M ”の撮影モードで設定できます。“ DISP ”ボタンを押すたびに画面の表示が切り換わります。“ DISP ”ボタンを押して“ フレーミングガイド ”を表示します。

縦横3分割フレーム

主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

- フレーミングガイドは画像に記録されません。
- 縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

◆重要◆

必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

画像を見るには（再生）

❶モードレバーを“ ▶ ”に合わせます。
❷“ EVF/LCD ”ボタンを押すたびに、ファインダー（EVF）とモニター（LCD）を切り換えできます。

! モードレバーを“ ▶ ”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。

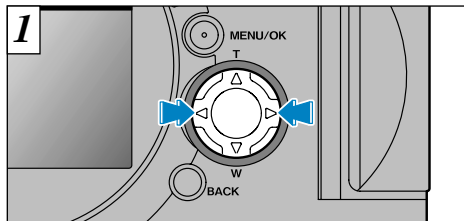
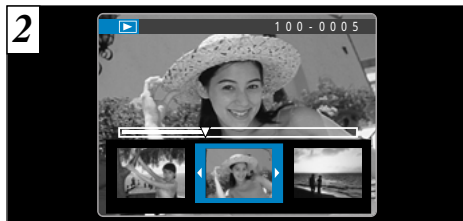
EVF/LCDの切り換え設定は、モード切り換え・電源OFFでも保持されます。

“ ▶ ”順送り、“ ◀ ”逆送りで画像を見ることができます。また、“ DISP ”ボタンを押すたびに画面の表示が切り換わります。

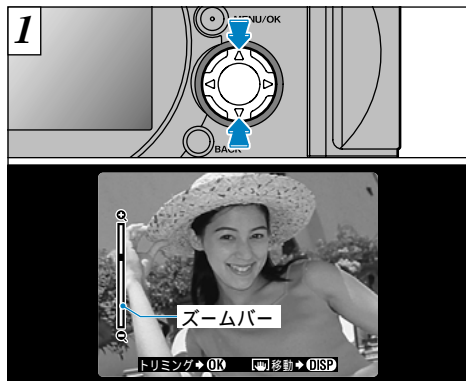
! 画面が見にくい場合は、画面の明るさを調節してください（➡100ページ）。

◆再生できる静止画ファイルについて◆

本機で記録した静止画ファイル、または弊社製デジタルカメラ FinePixシリーズ、CLIP-IT80/50、DS-30/20/10およびDS-260HD/250HD/230HD、あるいはそのほかのDCF対応カメラで、3.3V仕様のスマートメディアに記録した静止画（一部非圧縮を除く）ファイルが再生できます。

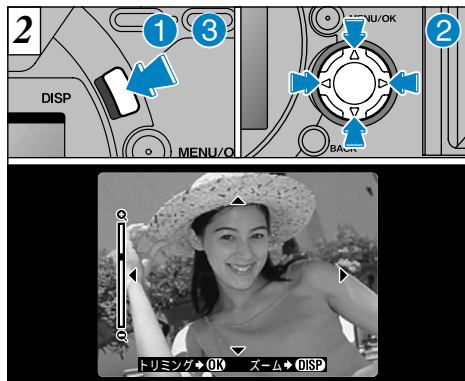
画像の早送り

再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると、画像を早送りできます。

早送り中は小さく3コマ同時に表示されます。早送りをやめると、枠で囲われた画像が1コマ表示されます。

! スマートメディア内のおおよその再生位置が、目安となるバーで表示されます。

再生ズーム

1コマ再生中に“ ▲▼ ”を押すと、静止画をズームします。このとき“ ズームバー ”が表示されます。

●ズーム倍率

6M 2832×2128ピクセル画像：最大18倍
3M 2048×1536ピクセル画像：最大13倍
1M 1280× 960ピクセル画像：最大 8倍
VGA 640× 480ピクセル画像：最大 4倍

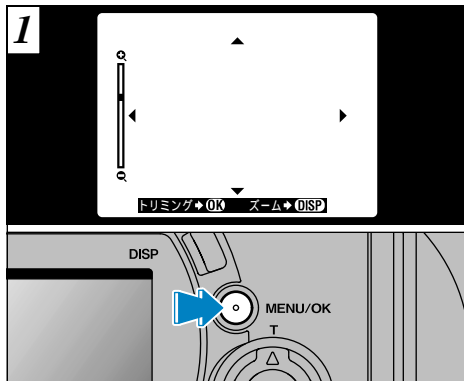
❗ズーム中に“ ◀▶ ”を押すと、ズームが解除され次の画像に送られます。

ズームしたあとに、

❶“ DISP ”ボタンを押します。

❷“ ▲▼◀▶ ”を押すと、見える範囲を移動できます。

❸もう一度、“ DISP ”ボタンを押すとズームに戻ります。

❗“ BACK ”ボタンを押すと画像が等倍に戻ります。

トリミング保存

再生ズームを利用後“MENU/OK”ボタンを押してトリミングします。

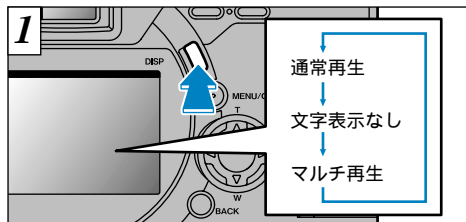
ズーム倍率によって保存される画像サイズが変わり、VGAになる場合は“トリミング➡OK”の文字が黄色になります。さらにVGA以下になると“トリミング➡OK”表示が消えます。

保存されるサイズを確認し、“MENU/OK”ボタンを押します。トリミングした画像は別ファイルで保存されます。

■画像サイズについて

3M	A5サイズ程度のプリントに適します。
1M	A6サイズ程度のプリントに適します。
VGA	プリント時の画質が低下するため、トリミングの文字が黄色になります。

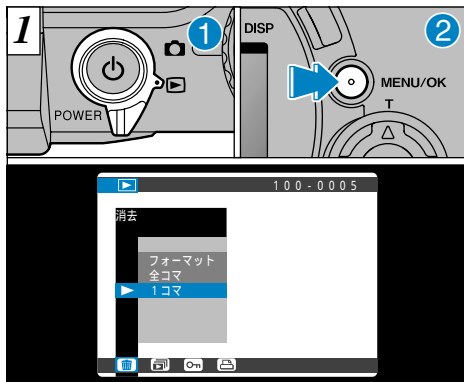
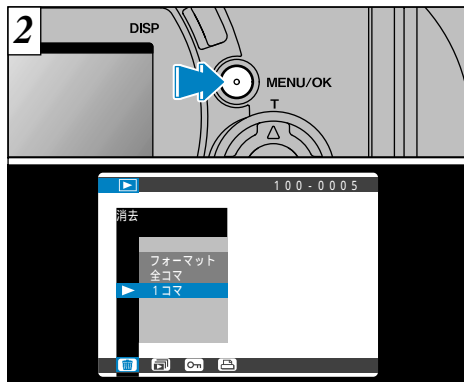
＊VGA以下はプリントに適さないため、“トリミング➡OK”の文字が消えトリミング保存できません。

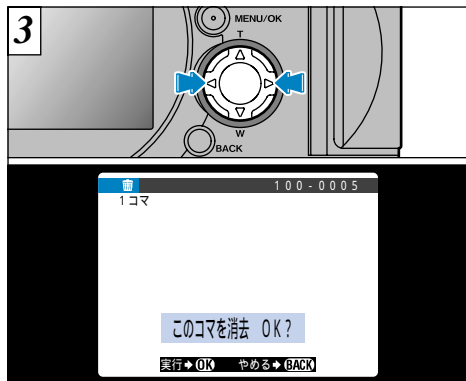
マルチ再生

再生モードでは“ DISP ”ボタンを押すたびに画面の表示が切り換わります。“ DISP ”ボタンを押してマルチ再生（9コマ）にします。

❶“ ▲▼◀▶ ”でカーソル（橙色の枠）を動かして、コマを選べます。数回“ ▲ ”か“ ▼ ”を押すと次のページに切り換わります。
❷もう一度“ DISP ”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

! 画面の文字表示は約3秒後に消えます。
! 再生ズーム中はマルチ再生はできません。

! マルチ再生は、１コマ消去、１コマプロテクト、DPOF1コマ設定、DPOF確認/解除で画像を選ぶ場合に便利です。

画像を消すには（1コマ消去）

❶モードレバーを“ ▶ ”に合わせます。
❷“ MENU/OK ”ボタンを押すとメニューが表示されます。

“ 🗑消去 ”の“ 1コマ ”を選んだ状態で“ MENU/OK ”ボタンを押します。

❗全コマ消去、フォーマットについて、詳しくは79ページをご参照ください。
❗画像を選ぶときはマルチ再生（➡35ページ）すると便利です。

“◀▶”を押して消去したい画像を表示します。

“MENU/OK”ボタンを押すと、表示している画像が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“ このコマを消去 OK？ ”が表示されます。

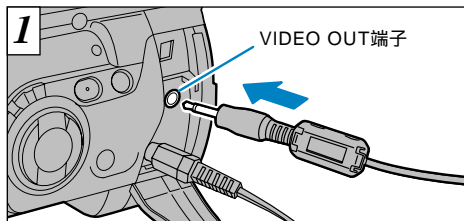
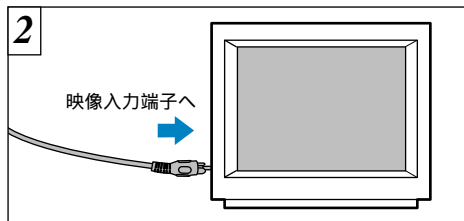
❗1コマ消去をやめたい場合は、“BACK”ボタンを押しメニューに戻ります。メニューを終了するには、もう一度“BACK”ボタンを押してください。

❗“ ❢ プロテクトされています ”が表示された場合、プロテクトを解除する必要があります（➡82ページ）。

❗“ プリント予約されています このコマを消去しますか？ ”が表示された場合は、DPOF指定されています。“MENU/OK”ボタンを押すと画像を消去し、DPOF指定が更新されます。

消去を続けるには、3、4の操作を繰り返します。

2

テレビに画像を映すには

カメラとテレビの電源を切ります。カメラの“VIDEO OUT”端子にビデオケーブル（付属品）のプラグを接続します。

テレビの映像入力端子にピンプラグを接続し、カメラとテレビの電源を入れて通常どおり撮影、再生を行ってください。

! コンセントが近くにある場合は、ACパワーアダプター AC-5Vを接続することをおすすめします。

! テレビの映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。

応用編 撮影では

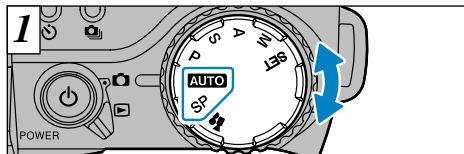
応用編 撮影では、モードレバーを“ 📷 ”に合わせた状態で行えるいろいろな機能をご紹介します。

■撮影モード仕様一覧

撮影モード	設定可能撮影メニュー	工場出荷時	ストロボ (P.49)	マクロ (P.53)	AEロック (P.54)	露出補正 (P.55)	MF (P.56)	連写 (P.59)	セルフタイマー (P.60)
AUTO オート (➡40ページ)	なし	——	A⚡、◉、⚡、SLOW	○	○	×	○	○	○
SP シーンポジション (➡40ページ)	なし	——		×	○	×	○	○	○
人物 (➡41ページ)			A⚡、◉、⚡、SLOW						
風景 (➡41ページ)			⊛						
スポーツ (➡41ページ)			A⚡、⚡						
夜景 (➡41ページ)			SLOW、SLOW						
BW モノクロ (➡41ページ)			A⚡、◉、⚡、SLOW	○					
P プログラムオート (➡42ページ)	ストロボ(光量補正) (P.64) WB ホワイトバランス (P.64)	0 AUTO	◉、⚡、SLOW、SLOW	○	○	○	○	○	○
S シャッター優先オート (➡42ページ)	測光 (P.67) ISO 感度 (P.68)	マルチ 100	◉、⚡	○	○	○	○	○	○
A 絞り優先オート (➡42ページ)	オートブラケティング (P.68) S シャープネス (P.70)	OFF NORMAL	◉、⚡、SLOW、SLOW	○	○	○	○	○	○
M マニュアル (➡44ページ)	多重露光 (P.70) 外部ストロボ (P.72)	OFF OFF	◉、⚡	○	×	×	○	○	○
ムービー(動画) (➡46ページ)	なし	——	×	×	×	×	×	×	×

＊連写・オートブラケティングでは、ストロボは使用できません。

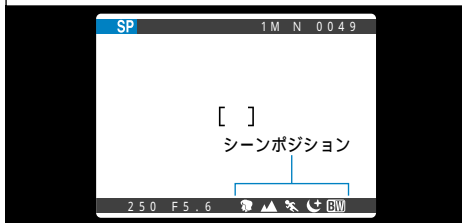
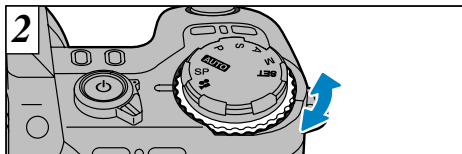
3

撮影モード AUTO オート/SP シーンポジション

モードダイヤルを回してセットします。

AUTO オート

最も簡単に撮影できる撮影用途の広い撮影モードです。

SP シーンポジション

撮影シーンに適した撮影モードです。

“SP”シーンポジションモードでは、・・・・BWの5種類からシーンを選べます。コマンドダイヤルを回してセットします。

“AUTO・SP”では感度はISO 100に設定されます。

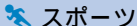
人物

人物撮影に適したモードです。肌の色がきれいに見え、ソフトな感じに仕上がります。

- ストロボ使用時：
  オートストロボ・赤目軽減・強制発光・スローシンクロ。

風景

昼間の風景撮影に適したモードです。建物や山など風景をくっきりと仕上げます。

- ストロボ使用時：
  自動的に発光禁止になり、設定は変えられません。

スポーツ

動体撮影に適したモードです。高速側のシャッター優先の撮影が行われます。

- シャッター：
  高速側のシャッタースピードで撮影されます。
- ストロボ使用時：
  オートストロボ・強制発光ストロボのみ。

夜景

夕景や夜景の撮影に適したモードです。スローシャッター優先の撮影が行われます。

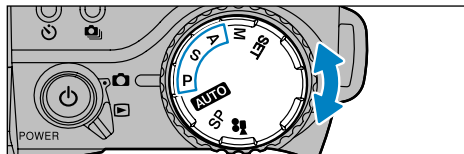
- シャッター：
  スローシャッターモードで、最長約3秒。
- ストロボ使用時：
  スローシンクロ・赤目軽減＋スローシンクロのみ。

BW モノクロ

撮影シーンを限定せず、モノクロで撮影したい場合に使用します。

- ストロボ使用時：
  オートストロボ・赤目軽減・強制発光・スローシンクロ。

BW モノクロを除きマクロの設定はできません。

撮影モード P プログラム/S シャッター優先/A 絞り優先

モードダイヤルを回してセットします。

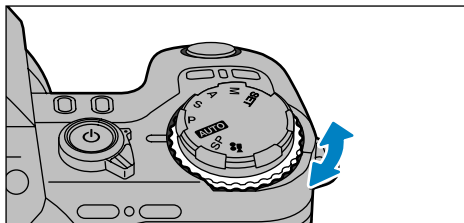
P プログラムオート

シャッタースピード/絞り以外の各種設定ができるオートモードです。比較的簡単にシャッター優先・絞り優先のように撮影できます（プログラムシフト）。

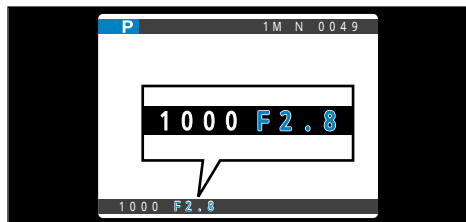
S シャッター優先オート

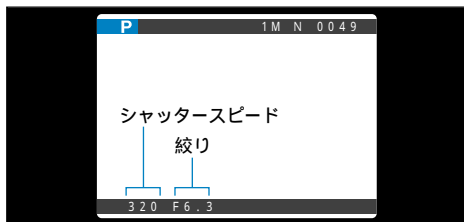
シャッタースピードを設定できるオートモードです。動きの一瞬をとらえる（高速）、動きを表現する（低速）などの撮影ができます。

A 絞り優先オート

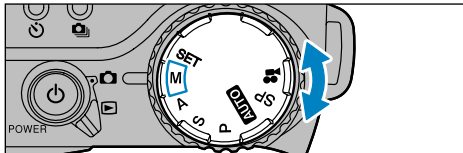
絞り値を設定できるオートモードです。
背景をぼかす（開放）、遠くまでピントを合わせる（絞る）撮影ができます。

コマンドダイヤルを回すと次のことが可能です。

P：プログラムシフト
S：シャッタースピードの設定　1/3EVステップ
ISO 100　　3秒〜1/1000秒
ISO 200　　3秒〜1/1000秒
ISO 400　1.6秒〜1/1000秒
A：絞り値の設定
F2.8〜F11　1/3EVステップ

❗撮影メニューについては63〜74ページをご参照ください。

撮影モードの制御範囲を超えてしまう場合（極端な露出オーバー・露出アンダーの撮影シーンなど）、画面内の“シャッタースピード”または“絞り値”が「赤色」で表示されます(➡11ページ)。

プログラムシフト

露出値を変えずにシャッタースピード・絞り値の組み合わせを切り換える機能です。プログラムシフト中は、シャッタースピード・絞り値が黄色で表示されます。
プログラムシフトはモードを切り換えるか電源を切ると解除されます。

3

撮影の状況に応じて露出補正をしてください（➡55ページ)。

M マニュアル

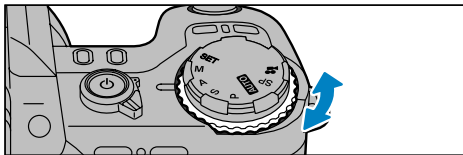
モードダイヤルを回してセットします。

M マニュアル

シャッタースピードと絞り値を自由に設定できる撮影モードです。

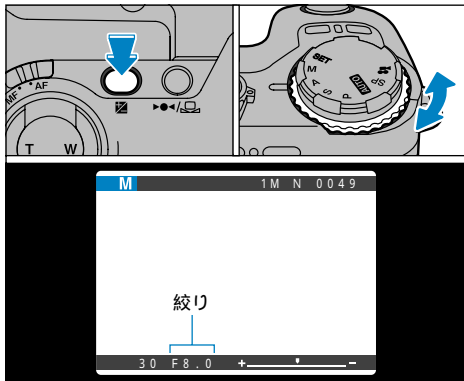
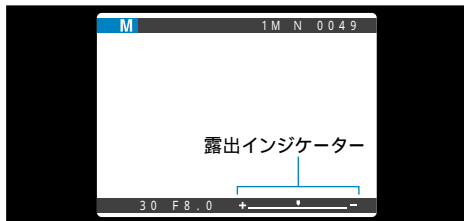
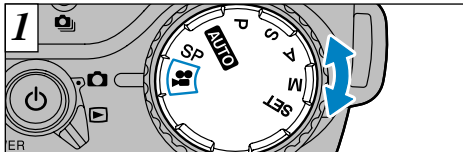
●シャッタースピードの設定　1/3EVステップ
　ISO 100　　3秒～1/1000秒
　ISO 200　　3秒～1/1000秒
　ISO 400　1.6秒～1/1000秒

●絞り値の設定
　F2.8～F11　1/3EVステップ

シャッタースピード設定

コマンドダイヤルを回してシャッタースピードを設定します。

撮影メニューについては63～74ページをご参照ください。

EVについては110ページをご参照ください。

絞り値設定

“ ”(露出補正) ボタンを押しながら、コマンドダイヤルを回して絞り値を設定します。

画面の“ 露出インジケーター ”を目安に露出を決定します。
目印が＋側になると露出オーバー（＋が黄色表示)、−側になると露出アンダー（−が黄色表示）です。

ムービー(動画)

モードダイヤルを回してセットします。

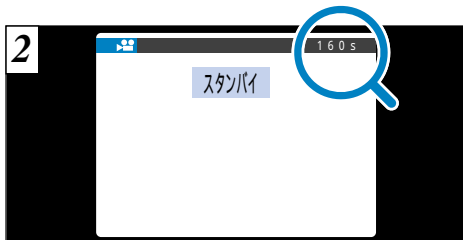
ムービー(動画)

1回、最長160秒のムービー撮影モードです。

●撮影形式：Motion JPEG 形式(➡110ページ)
320×240ピクセル
10フレーム/秒
音声なし

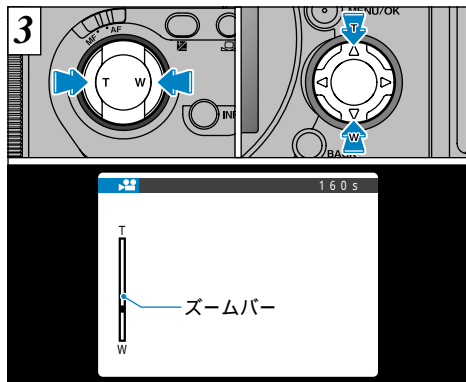
(➡110ページ)

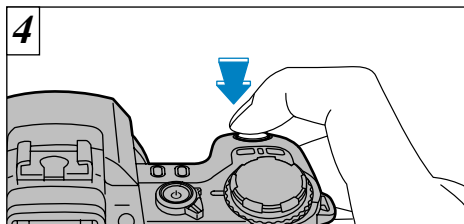
スマートメディアの空き容量によっては、1回の撮影時間が160秒より短くなることがあります。

本機で80秒を超えて記録した場合、本機以外では“READ ERROR”を表示し再生できないことがあります。

画面に撮影可能時間と“スタンバイ”が表示されます。

■スマートメディア標準撮影可能時間

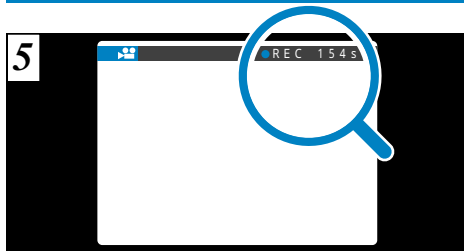
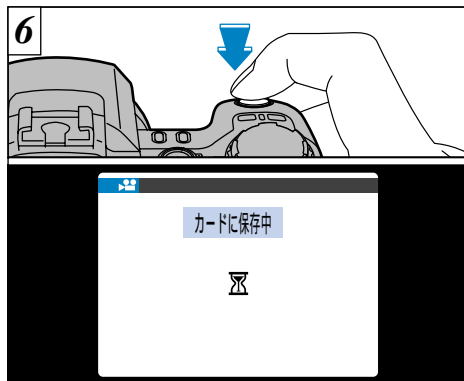
スマートメディア容量	撮影可能時間
MG-4S(4MB)	約23秒
MG-8S(8MB)	約47秒
MG-16S(16MB)	約94秒
MG-32S(32MB)	約191秒
MG-64S(64MB)	約385秒
MG-128S(128MB)	約774秒

＊スマートメディアをフォーマットした状態の撮影可能時間です。

ムービー撮影ではレンズが広角側に固定され、デジタルズームのみになります。ズームボタンか十字(▲▼)ボタンでズームできます。画面に“ズームバー”が表示されます。

●デジタルズーム焦点距離
　約35mm〜約70mm相当(約2倍)

シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。

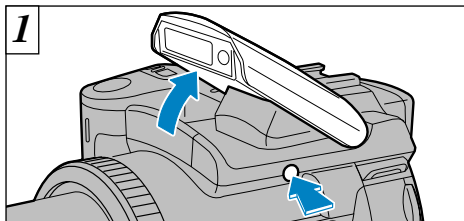
❗シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
❗ピントは約50cm〜無限遠の固定になります。
❗撮影中はピント、ホワイトバランスは固定ですが、露出はシーンに応じて自動的に変化します。

ホワイトバランスはシャッターボタンを全押しすると、自動的に設定されます。

3

撮影中は、画面右上に残り時間をカウントダウン表示します。

撮影中にシャッターボタンを押すと撮影を終了し、スマートメディアへ記録します。

! 残り時間がなくなると自動的に撮影が終了し、スマートメディアに記録されます。

! 約160秒の動画（約24MB）のスマートメディアへの書き込み時間は、約22秒です。

! 撮影開始後すぐに終了しても約3秒間だけスマートメディアへ記録されます。

ストロボ撮影

1 ストロボポップアップボタンを押してストロボをセットします。

●ストロボ撮影可能距離（AUTO時）
　広角側：約0.3m〜約3.6m
　望遠側：約0.9m〜約3.2m
　（内蔵ストロボガイドナンバー8（ISO 100時））

2 “⚡”ボタンを押してストロボの設定を選びます。
“⚡”ボタンを押すたびに、ストロボの設定が変わります。

❗撮影モード“🎥”ではストロボ撮影はできません。
❗撮影モード“AUTO”の場合、オートストロボの使用をおすすめします。
❗ストロボをポップアップしたときや、ストロボ撮影をした場合、充電するために映像が消えて黒い画面になる場合があります。このときインジケーターランプが橙色の点滅をします。

❗ストロボの設定は撮影モードにより制限されます（➡39ページ）。
❗外部ストロボの使用については72ページをご参照ください。

3

A⚡ オートストロボ

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

👁 赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。

❗“AUTO・SP”の“👁”赤目軽減ストロボは撮影状況に応じて自動的に発光します。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。明るいところでもストロボ撮影が行われます。

SLOW スローシンクロ

スローシャッターでストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。

SLOW 赤目軽減＋スローシンクロ

赤目軽減のスローシンクロ撮影です。

- 明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。
- スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

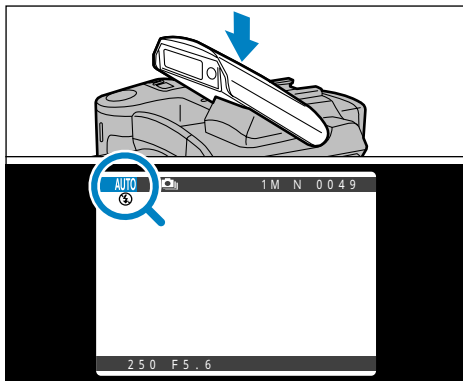
背景の夜景をより明るく撮りたい場合は“SP”モードの“ ”(夜景)の使用をおすすめします(➡41ページ)。

3

ストロボ撮影

ストロボ発光禁止

**ストロボを閉めると発光禁止になります。
室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、オートホワイトバランス（➡110ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。**

❗暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
❗手ブレ警告については26、118ページをご参照ください。

ストロボを閉めて発光禁止にします。

下記モードではストロボをポップアップしていても、画面に“ ”が表示され、ストロボ撮影できません。

●ストロボ撮影できないモード

- **風景（➡41ページ）**
- **連写（➡59ページ）**
- **オートブラケティング（➡68ページ）**

マクロ（近距離）

“AUTO・BW・P・S・A・M”の撮影モードで設定できます。
マクロを設定すると近距離撮影ができます。

●撮影可能距離：約10cm〜約80cm

“ ”ボタンを押すと画面に“ ”が表示され、マクロ撮影できます。もう一度“ ”ボタンを押すと解除されます。

! 焦点距離は約35mm〜約80mm（35mmカメラ換算）の光学ズームになります。デジタルズームの使用も可能です（➡58ページ）。

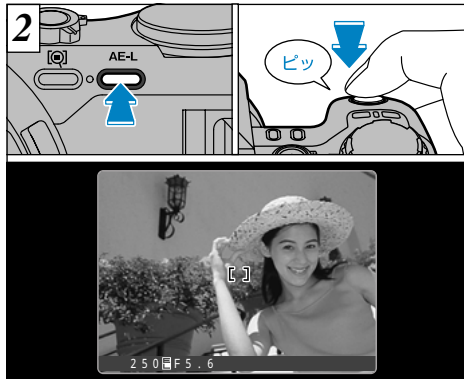
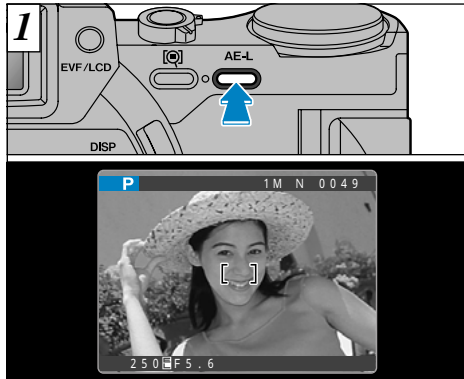
! 撮影の状況に応じてストロボの設定をしてください（➡49ページ）。ただし、ストロボ撮影可能距離は約30cm〜約80cmになります。

! ストロボが明るすぎる場合は、ストロボの明るさ補正を行ってください（➡64ページ）

! 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

! マクロ撮影は、次のとき自動的に解除されます。
- 撮影モードを“SP（BWを除く）・ ・SET”に切り換えたとき
- 再生モードに切り換えたとき
- 電源が切れたとき

3

AE-L AEロック

“ AUTO ・ SP ・P・S・A ”の撮影モードで設定できます。
特定の被写体に露出を固定して撮影したいときに使用します。
被写体を画面中央に大きくとらえ、“ AE-L ”ボタンを押します。画面に“ ”マークが表示され“ AE-L ”ボタンを押している間、露出が固定されます。

“ AE-L ”ボタンを押したままシャッターボタンを半押ししピントを合わせます。構図をし直して撮影します。

! シャッターボタンを半押しすれば、“ AE-L ”ボタンを離しても露出は固定されています。
! AEロック時のシャッターボタン半押しは、ピント合わせのみ可能です。

露出補正

“P・S・A”の撮影モードで設定できます。
被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

! 次のような状態では、無効になります。
“ ”（強制発光）または“ ”（赤目軽減）で撮影シーンが暗いとき

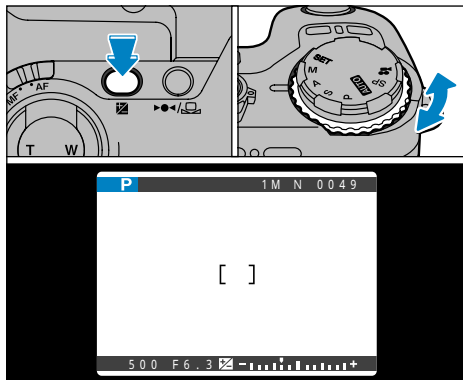
◆次のような被写体のとき効果があります◆

＋（プラス）補正の目安

- 白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写：＋4目盛（＋1.3EV）
- 逆光の人物撮影：＋2〜4目盛（＋0.7〜＋1.3EV）
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：＋3目盛（＋1EV）
- 画面内を空の部分が大きく占める場合：＋3目盛（＋1EV）

－（マイナス）補正の目安

- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：－2目盛（－0.7EV）
- 黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写：－2目盛（－0.7EV）
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：－2目盛（－0.7EV）

! EVについては110ページをご参照ください。

“ ”ボタンを押しながら、コマンドダイヤルを回して設定します。補正した側の“－”または“＋”が「黄色」になります。設定中は“ ”が「黄色」で表示され、設定後は“ ”が「青色」になります。

●補正範囲：－2〜＋2EV、1/3EVステップ

モード切り換え・電源OFFでも保持されます（“ ”マーク点灯）。必要のないときは設定値を“0”にしてください。

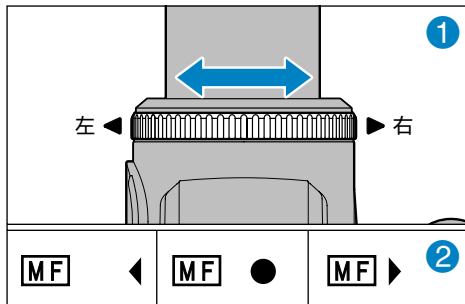
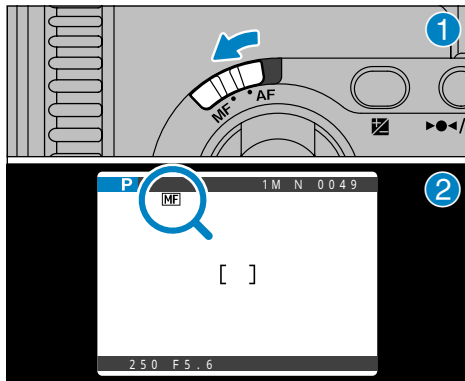
3

マニュアルフォーカス

“ 🎥 ”を除く撮影モードで使用できます。
AFでピントが合いにくい場合や、ピントを固定して撮影したいときに使用します。

❶フォーカスモード切り換えスイッチを“ MF ”側にスライドします。

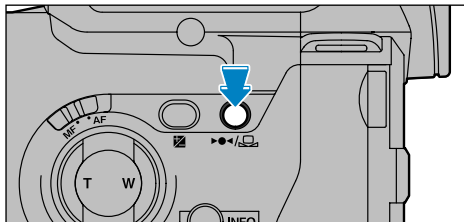
❷画面に“ MF ”が表示されます。

◆マニュアルフォーカスを使いこなすには◆
カメラが動いてしまうとピントがずれてしまうため、三脚を使用します。

❶フォーカスリングを回してAFフレーム内の被写体にピントを合わせます。

❷画面にフォーカスインジケーターが表示されるので、“ ● ”が表示されるように調節します。

■フォーカスインジケーターについて

ピント合わせをある程度行う（合焦位置に近づく）とマークが表示されるので、マークに従ってピントを合わせます。

●	ピントが合っています。
▶	ピントが近距離です。フォーカスリングを右に回します。
◀	ピントが遠距離です。フォーカスリングを左に回します。

ワンプッシュAF機能

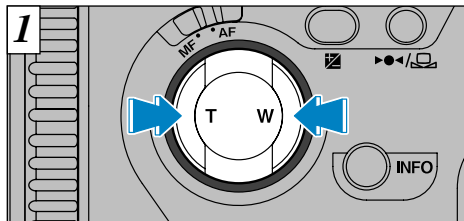
素早くピントを合わせるときに使用します。
“▶●◀/⌂”ボタンを押すとオートフォーカスでピントが合います。

フォーカス確認機能

ピントが確認しにくい場合に使用します。
“(フォーカス確認)”ボタンを押すと画面中央部が拡大表示され、そのままピント合わせが可能です。もう一度押すと通常表示に戻ります。

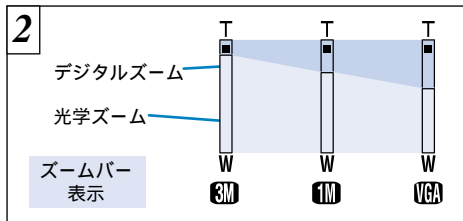
! ワンプッシュAF時はフォーカスインジケーターは表示されません。

! ピクセル設定が“VGA”で、デジタルズーム(テレ端)使用時は拡大表示されません。

デジタルズーム

ピクセル（画像サイズ）設定が“ 6M ”以外ではデジタルズームできます。

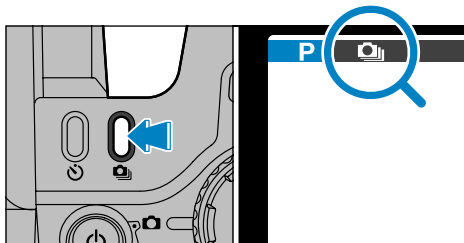
●デジタルズームにする
　光学ズーム（テレ端）に続いてもう一度、“ T側 ”を押します。

●光学ズームに戻る
　デジタルズーム（ワイド端）に続いてもう一度、“ W側 ”を押します。

! “ 6M ”ではデジタルズームはできません。
! デジタルズームにすると、映像がなめらかに変化しなくなります。
! 光学ズームは約35mm〜約210mm（35mmカメラ換算）です。
! ピクセル（画像サイズ）設定の変更（➡95ページ）。

画面には“ ズームバー ”が表示されます。ズームしたときにピントがずれた場合は、シャッターボタンを半押しすると映像を確認しやすくなります。

●デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）

3M	：約210mm〜約294mm相当（1.4倍）
1M	：約210mm〜約462mm相当（2.2倍）
VGA	：約210mm〜約924mm相当（4.4倍）
ムービー	：約　35mm〜約　70mm相当（2倍）

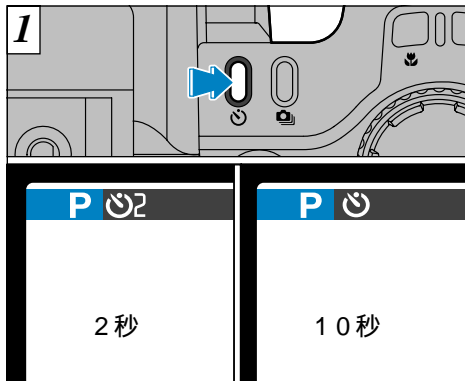
連写

“ ”を除く撮影モードで設定できます。
連写を設定すると、最短約0.2秒間隔で最大5コマ連写できます。
“ ”ボタンを押すと画面に“ ”が表示され、設定されます。もう一度“ ”ボタンを押すと解除されます。

ストロボ撮影はできません。
ピクセル/クオリティー設定にかかわらず、連写速度は一定です。

撮影すると撮影結果（左から撮影した順序）が表示され、自動的に保存されます。

ピント、露出は1コマ目の撮影時に決定され、途中で変化しません。
撮影画像表示（➡96ページ）をOFFにしても撮影結果が表示されます。
ファイル記録時間は、“ 6M ・ＮＯＲＭＡＬ ”の画像で約21秒です（5コマ連写した場合）。

撮影結果を選択して記録する場合は96ページをご参照ください。

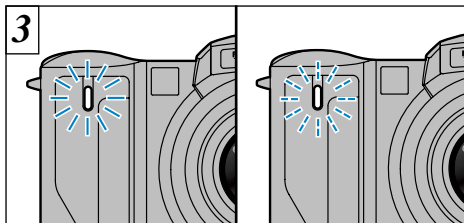
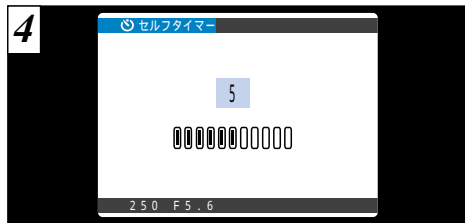
3

セルフタイマー撮影

“ ”を除く撮影モードで設定できます。
“ ”ボタンを押すたびに、2秒→10秒→OFFの順に設定が変わります。

被写体にAFフレームを合わせ、シャッターボタンを押すとAFフレーム内に見えるものにピントが合い、セルフタイマーがスタートします。

◆2秒撮影について◆

三脚を使用してもシャッター操作でカメラがブレてしまう場合に便利です。

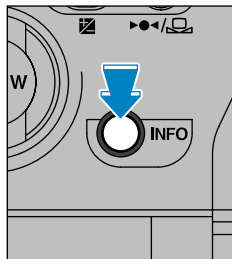
! AF/AEロック撮影も可能です(➡28ページ)。
! レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ(露出)にならないことがあります。

セルフタイマーランプが点灯したのち点滅に変わり、撮影されます。

撮影されるまでの間、画面にカウントダウン表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

3

! スタートしたセルフタイマー撮影は、“ BACK ”ボタンを押すと解除できます。

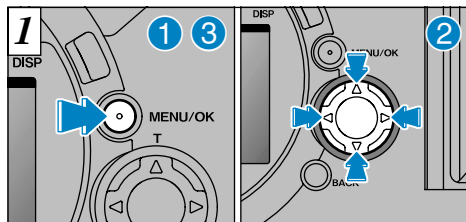
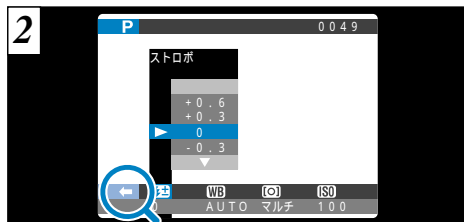
■セルフタイマーランプ表示

2	2秒間点滅
	5秒間点灯→5秒間点滅

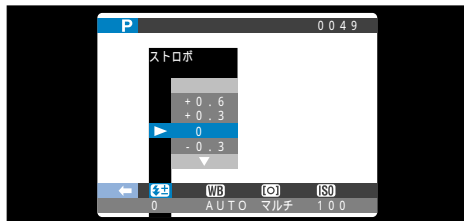
撮影インフォメーション

撮影中に現在の設定値がわからなくなった場合、“INFO”ボタンを押している間のみ確認できます。

“AUTO・SP・🎥”ではインフォメーション表示されません。

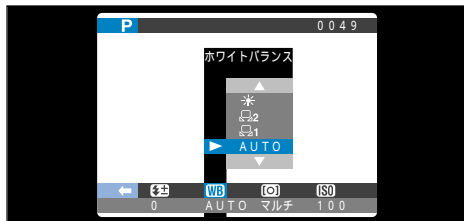
確認のみで設定の変更はできません。

撮影メニューの操作

❶“ MENU/OK ”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“ ◀▶ ”でメニューを選びます。“ ▲▼ ”で設定を変更します。
❸“ MENU/OK ”ボタンを押して決定します。

メニュー端の“ ⬅➡ ”側へ、“ ◀▶ ”を押すとメニューのページが切り換わります。

!“ AUTO ・ SP ・ 🎥 ”の撮影モードではメニューは設定できません。詳しくは、39ページを参照してください。

撮影メニュー ストロボ(光量補正)

"P・S・A・M"の撮影モードで設定できます。
ストロボ光が届かない(薄暗くなる)場合や、近距離でストロボ撮影する場合など、適正な明るさにならないときに使用します。

●補正範囲は±2段(−0.6〜+0.6EV、約0.3EVステップ)です。補正は内蔵ストロボのみ有効です。EVについては110ページをご参照ください。

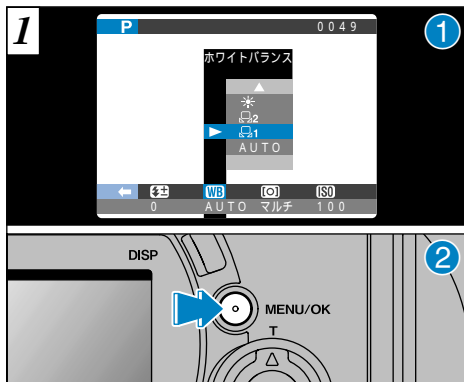
撮影メニュー WB ホワイトバランス

"P・S・A・M"の撮影モードで設定できます。
撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスにならない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。ホワイトバランスについては110ページをご参照ください。

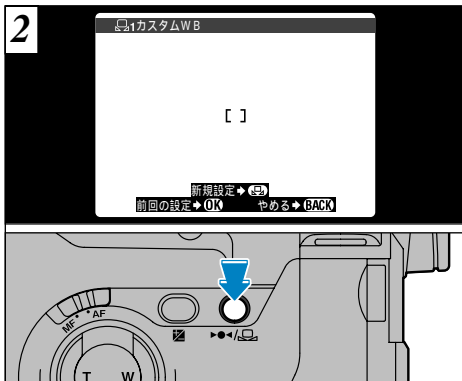
AUTO：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）
1：カスタムホワイトバランス
2：カスタムホワイトバランス
：晴れた屋外での撮影
：日陰での撮影
1：昼光色蛍光灯下での撮影
2：昼白色蛍光灯下での撮影
3：白色蛍光灯下での撮影
：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時は、ホワイトバランス設定（カスタムホワイトバランスを除く）は無効になりますので、意図した撮影の場合、ストロボを押し下げて発光禁止（➡52ページ）にしてください。

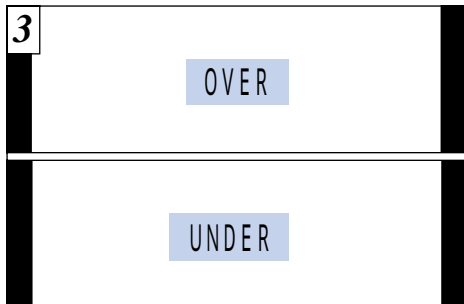
◆カスタムホワイトバランスについて◆

光源に対して正確にホワイトバランスを合わせたいときに使用します。
特殊な効果を出したいときにも使用できます。

カスタムホワイトバランスの設定

❶“1”または“2”のカスタムホワイトバランスを選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

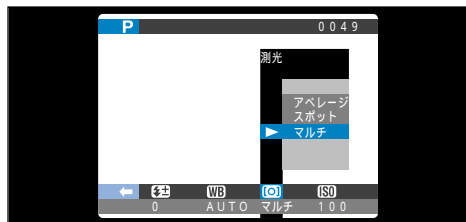
3

設定したい光源下で、白い紙などを画面いっぱいに表示します。
“▶●◀/ ”ボタンを押すと測定され、ホワイトバランスが設定されます。

❗画面にホワイトバランスは反映されません。

前回設定したホワイトバランスを使用するには、“▶●◀/ ”ボタンを押さずに“ MENU/OK ”ボタンを押してください。

“ OVER ”“ UNDER ”が表示された場合は、適正な露出でホワイトバランスが測定されていません。もう一度、設定し直してください。

❗撮影後、画像の色味（ホワイトバランス）を確認することをおすすめします。
- SET－UP画面で撮影画像表示（➡96ページ）をプレビューにします。
- モードレバーを“ ▶ ”にします（➡31ページ）。

◆使用例◆
白い紙の代わりに色紙を使用すると撮影画像のホワイトバランスを意図的に変えることができます。

撮影メニュー [O] 測光モード

"P・S・A・M"の撮影モードで設定できます。被写体と背景の明るさが大きく異なる撮影シーンで、マルチで思いどおり測光されない場合に使用します。

●アベレージ：画面全体を平均して測光します。
●スポット　：画面中央部の露出が最適になるように測光します。
●マルチ　　：自動で場面を判別し、露出が最適になるように測光します。

◆次のような被写体のとき効果があります◆

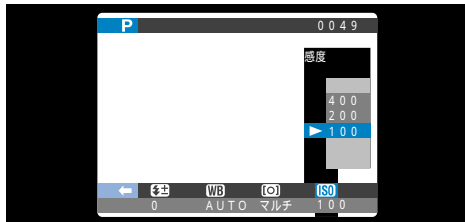
● **アベレージ**
構図や被写体により露出が変化しにくい特長があります。白や黒などの服を着た人物や、風景の撮影などに有効です。

● **スポット**
明暗差の大きい被写体で、ねらったものに正確に露出を合わせたいときに有効です。

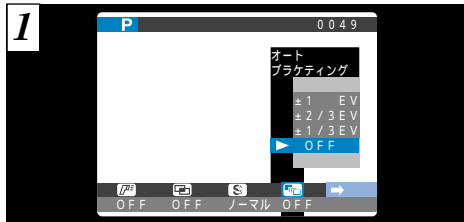
● **マルチ**
シーン自動認識により被写体を分析し、幅広い条件で適正な露出が得られます。通常はマルチの使用をおすすめします。

3

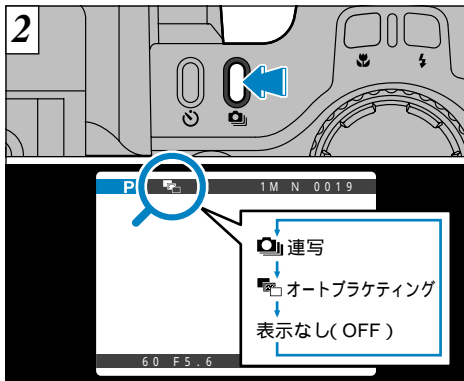
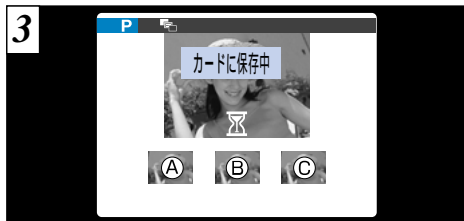
"AUTO・SP・[動画]"時はマルチに固定されています。

撮影メニュー ISO 感度

“P・S・A・M”の撮影モードで設定できます。
室内の撮影などで、ストロボを使わずに明るく撮影したい場合や、高速シャッターを切りたいとき（手ブレ防止など）に使用します。

●設定値：100・200・400

撮影メニュー オートブラケティング

“P・S・A・M”の撮影モードで設定できます。
同じ画像を露出を変えて撮影したいときに使用します。
自動的に設定値きざみで適正・オーバー・アンダーの露出で3コマ連続して撮影します。

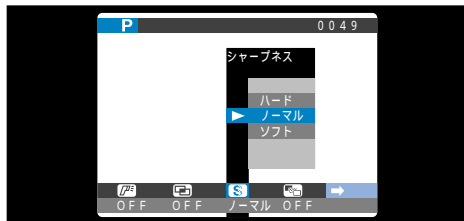
●設定値は3種類（±1/3・±2/3・±1EV）です。
EVについては110ページをご参照ください。

! ストロボ撮影はできません。
! 必ず3コマの画像が撮影されます。ただし、スマートメディアに3コマ分の空き容量がない場合は撮影できません。

オートブラケティングを設定後、“ ”ボタンを押して画面に“ ”を表示します。“ ”ボタンを押すたびにモード（・・表示なし）が変わります。

撮影すると撮影結果（Ⓐ適正、Ⓑオーバー、Ⓒアンダー）が表示され、自動的に保存されます。

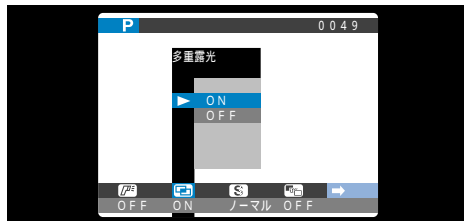
! ピントは1コマ目の撮影時に決定され、途中で変化しません。
! 撮影画像表示（➡96ページ）をOFFにしても撮影結果が表示されます。
! ファイル記録時間は、“ 6M ・NORMAL ”の画像で約12秒です。

撮影結果を選択して記録する場合は96ページをご参照ください。

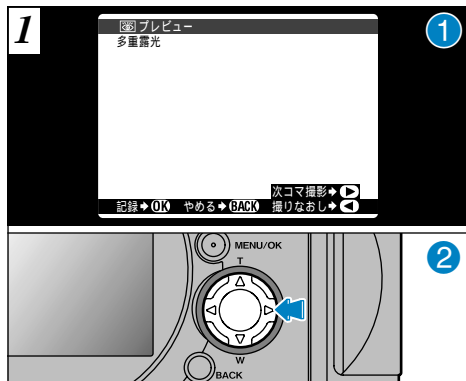
3

撮影メニュー シャープネス

“P・S・A・M”の撮影モードで設定できます。
輪郭をソフトにしたり強調したり、撮影画質を調整するときに使用します。

- **ハード　：輪郭を強調します。建物、文字などを鮮明にしたい撮影に最適です。**
- **ノーマル：通常の撮影に最適なシャープネス処理をします。**
- **ソフト　：輪郭をソフトにします。人物などソフトにしたい撮影に最適です。**

撮影メニュー 多重露光

“P・S・A・M”の撮影モードで設定できます。
撮影した画像が重なって表現される撮影方法です。通常得られない画像を撮影できます。

! 撮影した画像が露出オーバーになる場合は、露出補正でマイナス補正することをおすすめします（➡55ページ）。
! 多重露光では光学ズームのみになり、デジタルズーム（➡58ページ）は機能しません。
! 電源OFFで自動的に解除されます。

多重露光設定時は連写、オートブラケティングは無効になります。

❶撮影するとプレビュー画面が表示されます。
❷“ ▶ ”を押して、次のコマ撮影に移行します。

次の撮影（多重露光）を行うと、画像が重なってプレビュー表示されます。

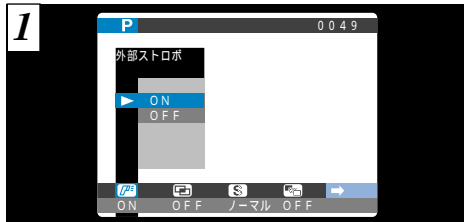
●さらに多重露光するには：“ ▶ ”を押します。
●画像を記録するには：“ MENU/OK ”を押します。
●ひとつ前に戻るには：“ ◀ ”を押します。
●記録しないでやめるには：“ BACK ”ボタンを押します。

3

! 撮影モードを変更すると記録されずに終了します。

撮影途中で撮影メニューやピクセル/クオリティーの設定を変更できません。

! 撮影画像表示の設定にかかわらず必ずプレビューされます。ただしプレビューズーム機能は使用できません（➡96ページ）。

多重露光の回数に制限はありません。

外部ストロボ

“P・S・A・M”の撮影モードで設定できます。
外部ストロボを使用するときに“ON”にします。

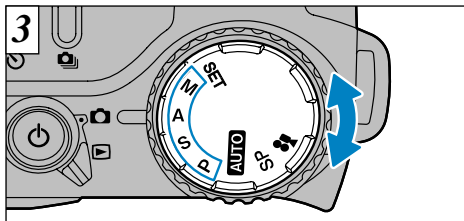
●同調速度：1/1000秒まで

❶内蔵ストロボを閉めます。
❷外部ストロボをカメラのホットシューに取り付けます。

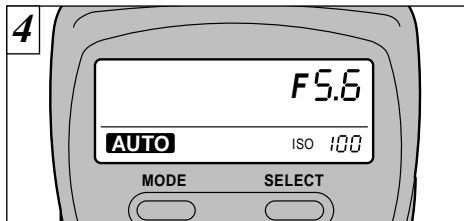
! ホワイトバランス（➡64ページ）をAUTO、またはカスタムホワイトバランス（➡74ページ）に設定します。

◆使用可能なストロボ◆

次の3条件を同時に満たすもの
- 絞り値設定が可能
- 外部調光が可能
- 感度設定が可能

! 内蔵/外部ストロボは同時に使用できません。

“P・S・A”(➡42ページ)が“M”(➡44ページ)に設定します。ただし、“A”か“M”での使用をおすすめします。

❗連写(➡59ページ)・オートブラケティング(➡68ページ)を設定時はストロボ撮影できません。

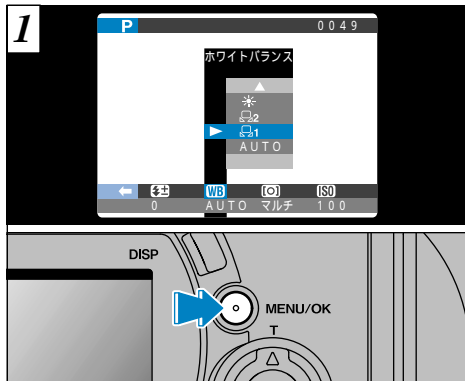
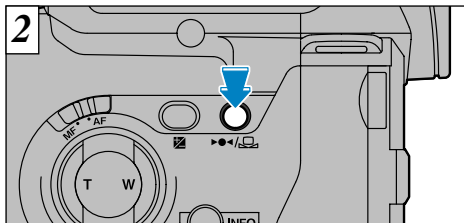
外部ストロボ使用時は絞り値を固定します。

外部ストロボの設定

外部ストロボの設定は、ストロボの説明書を参照して次の項目を設定してください。

●カメラの絞り値と、設定を合わせます。“P・S”の撮影モードでは、カメラが測定した絞り値に合わせてください。

●カメラの感度(➡68ページ)と、設定を合わせます。

●外部調光モードに設定します(TTLモードは使用できません)。

ホワイトバランスが合わない場合

ホワイトバランスを外部ストロボに合わせます。
撮影メニューの“ WB ”(➡64ページ) で“ 1・2 ”カスタムホワイトバランスを選びます。
“ MENU/OK ”ボタンを押します。

白い紙などを画面いっぱいに表示します。
“ ▶●◀/ ”ボタンを押すとストロボが発光し設定されます。

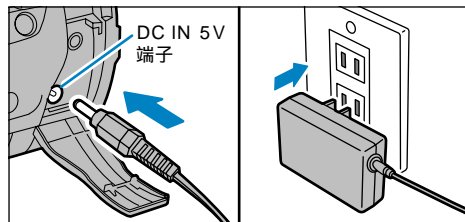
撮影後、画像の色味(ホワイトバランス)を確認することをおすすめします。

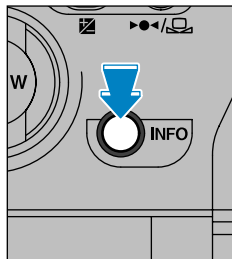
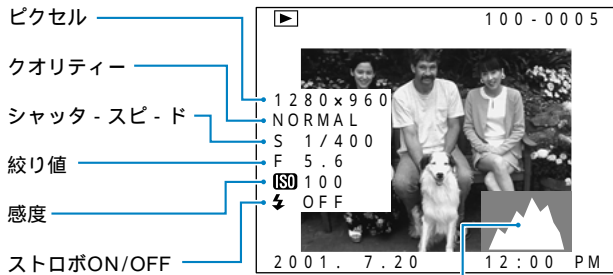
- SETーUP画面でプレビュー表示(➡96ページ)をONにします。
- モードレバーを“ ▶ ”にします(➡31ページ)。

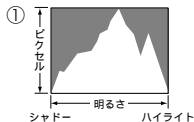
応用編 再生では

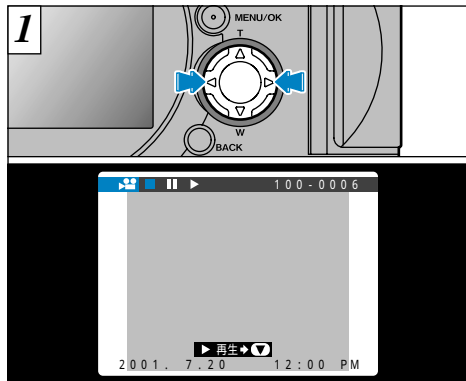
応用編 再生では、モードレバーを“ ▶ ”に合わせた状態で行えるいろいろな機能をご紹介します。

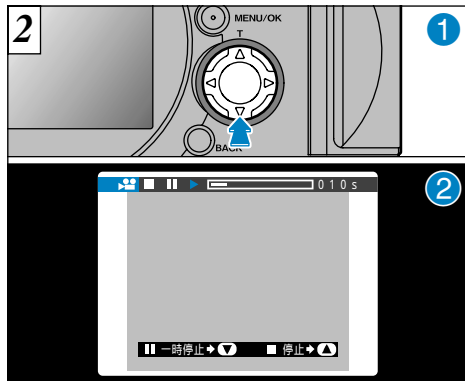
■再生モードメニュー一覧

再生しているファイル	設定可能再生メニュー
▶ 静止画（➡31ページ）	消去（1コマ・全コマ・フォーマット）（➡36、79ページ） オートプレイ（自動再生）（➡81ページ） プロテクト（消去防止）（➡82ページ） DPOF（プリント予約）（➡86ページ）
ムービー（➡77ページ）	消去（1コマ・全コマ・フォーマット）（➡36、79ページ） オートプレイ（自動再生）（➡81ページ） プロテクト（消去防止）（➡82ページ）

コンセントが近くにある場合は、静止画やムービーを再生している最中に電源が切れないように、ACパワーアダプター AC-5Vでの使用をおすすめします（➡16ページ）。

再生インフォメーション

撮影時の情報を確認することができます。
“INFO”ボタンを押している間のみ確認できます。

◆ヒストグラム表示について◆

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ/縦軸：ピクセルの数）に表したものです。
①最適な場合：全体的にピクセルの数が多く山なりに分布します。
②露出オーバーの場合：ハイライトのピクセルの数が多く右に偏ります。
③露出アンダーの場合：シャドーのピクセルの数が多く左に偏ります。

! 被写体によってグラフ形状は異なります。

! マルチ再生中（➡35ページ）は使用できません。

ムービー(動画)再生

“◀▶”でムービーファイルを選びます。

❶“▼”を押すと再生されます。
❷画面に再生時間とバーが表示されます。

4

! マルチ再生ではムービー再生できません。“ DISP ”ボタンで通常再生にしてください。

静止画に比べ、ひと回り小さく表示されます。

! 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦に白いスジが入ることがありますが故障ではありません。

詳しい操作は78ページをご参照ください。

ムービー（動画）再生

■ムービー再生操作方法

	操　作	説　明
再生		再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除		再生中に押すと一時停止します。一時停止中に押すと一時停止を解除します。
停止		再生を停止します。
早送り/巻き戻し		再生中に押すと早送り/巻き戻しします。
コマ送り	一時停止中	●一時停止中に“◀”または“▶”を押すたびに1コマずつ送られます。 ●押し続けると速く送られます。

＊パソコンでの再生については102ページをご参照ください。

◆再生できるムービーファイルについて◆

本機で記録したムービーファイル、または弊社製デジタルカメラで3.3V仕様のスマートメディアに記録した160秒までのムービーファイルが再生できます。
記録時間が160秒を越えるムービーファイルは“READ ERROR”表示し、再生することはできません。

1コマ消去

選んだファイルだけを消去します。

❗ プロテクト（➡82、84ページ）したファイルは消せません。

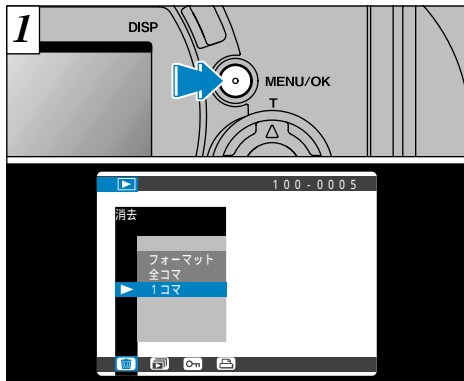
全コマ消去

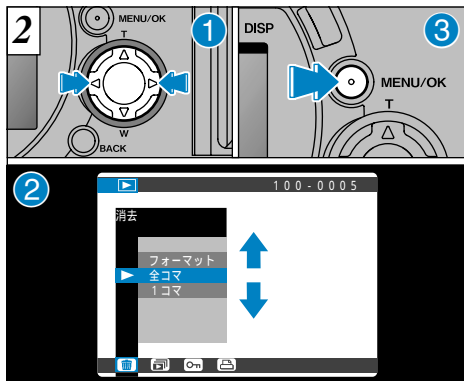
プロテクトしたファイル以外をすべて消去します。

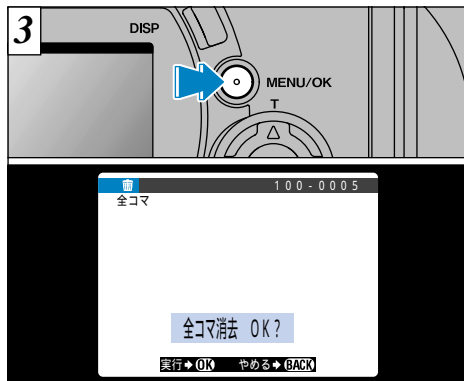
フォーマット

すべて消去してこのカメラ用に作り直します（スマートメディアの初期化）。

❗ プロテクトしたファイルも消えます。

❗“CARD ERROR”“CARD NOT INITIALIZED”“READ ERROR”“WRITE ERROR”が表示された場合は、まずスマートメディアの接触面（金色の部分）を乾いた柔らかい布などでよくふいてから、再度セットしてください。また、フォーマットが必要な場合があります。

“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

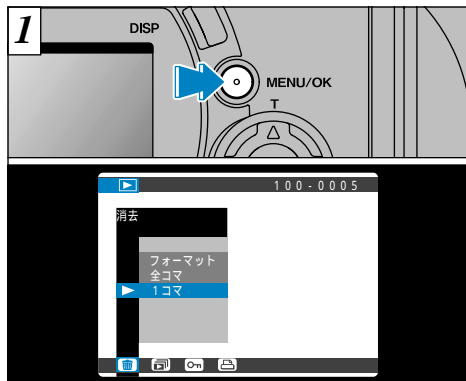
❗ メニューを終了するには“BACK”ボタンを押してください。

1コマ・全コマ消去/フォーマット

❶“◀▶”で“ 🗑 ”を選びます。
❷“▲▼”で“1コマ”、“全コマ”か“フォーマット”を選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

実行を確認する画面が表示されます。
全コマ消去かフォーマットを実行するには、“MENU/OK”ボタンを押します。
1コマ消去ではファイルを“◀▶”で選んでから、“MENU/OK”ボタンを押します。

フォーマットするとすべて消去されます。

❗ やめたい場合は、“BACK”ボタンを押してください。
❗“ プリント予約されています このコマを消去しますか？ ”が表示された場合は、DPOF指定されています。“MENU/OK”ボタンを押すと画像を消去します。

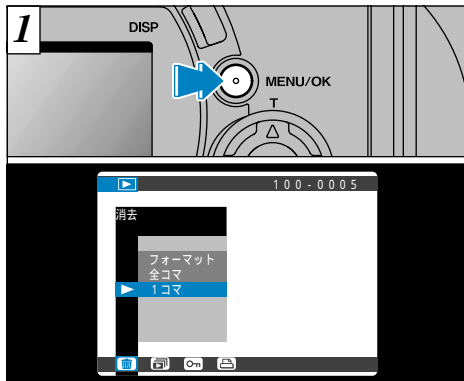
オートプレイ（自動再生）

“ MENU/OK ”ボタンを押してメニューを表示します。

❶“ ◀ ▶ ”で“ ”を選びます。
❷“ MENU/OK ”ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。

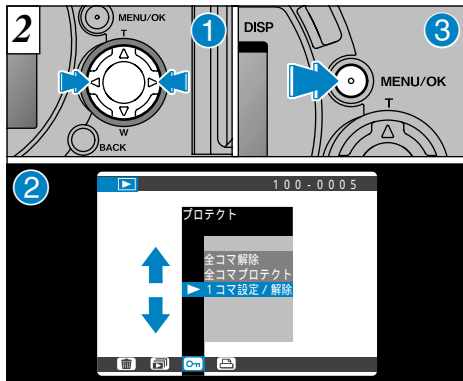
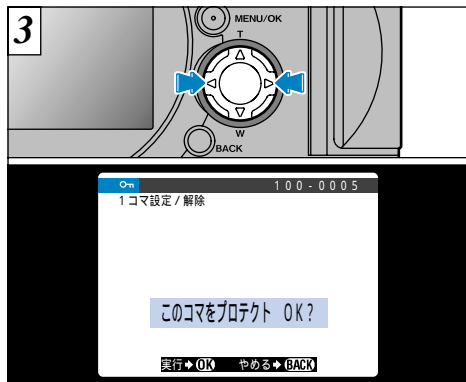
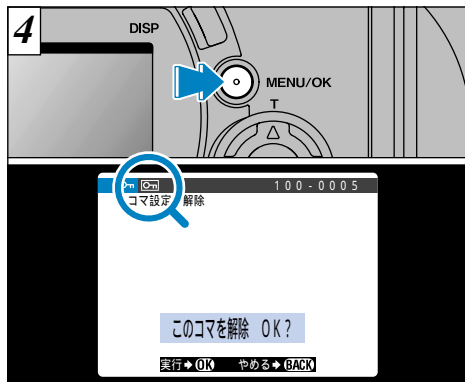
! オートプレイ中はオートパワーオフしません。
! ムービーは自動的に再生が始まります。再生が終わると次のコマに進みます。

! “ DISP ”ボタンを1回押すと、画面に再生コマNo.が表示されます。
! 途中でやめる場合は、“ BACK ”ボタンを押してください。

再生メニュー 1コマプロテクト設定/解除

“ MENU/OK ”ボタンを押すとメニューが表示されます。

❶“ ◀▶ ”で“ ”を選びます。
❷“ ▲▼ ”で“ 1コマ設定/解除 ”を選びます。
❸“ MENU/OK ”ボタンを押します。

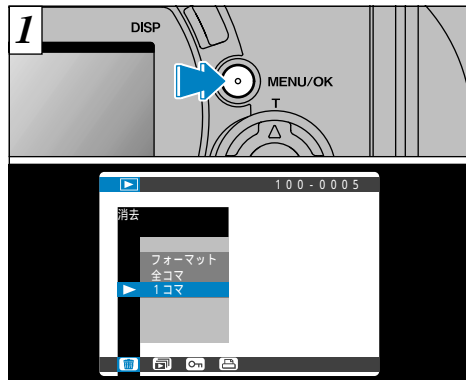
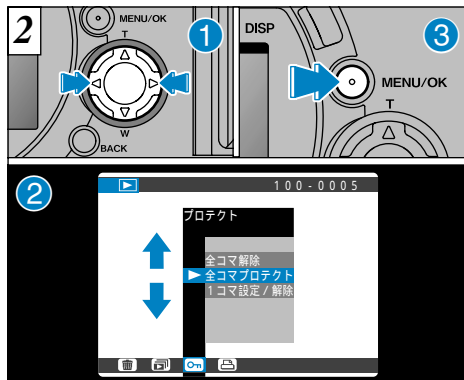
画像を選ぶときはマルチ再生（➡35ページ）すると便利です。

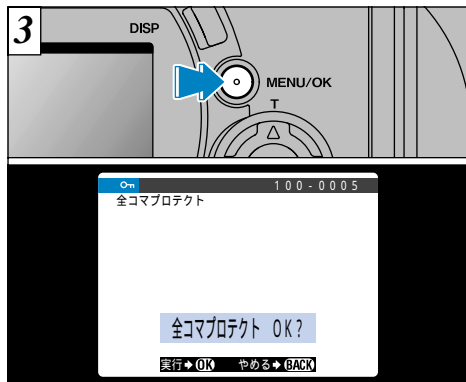
プロテクトとは、誤って消去しないように設定することです。ただし“ フォーマット ”するとすべて消去されます（➡79ページ）。

“ ◀ ▶ ”でプロテクトしたいファイルを選びます。

“ MENU/OK ”ボタンを押すとプロテクトされ、画面に“ [key icon] ”マークが表示されます。プロテクトを解除するには、もう一度“ MENU/OK ”ボタンを押します。

4

❗ プロテクト操作を終了するには“ BACK ”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度“ BACK ”ボタンを押してください。

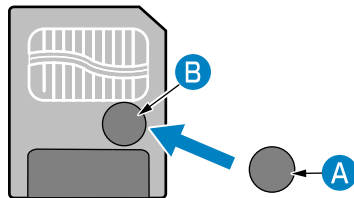
プロテクトを続けるには、3、4の操作を繰り返します。

再生メニュー 全コマプロテクト設定/解除

“ MENU/OK ”ボタンを押すとメニューが表示されます。

❶“ ◀▶ ”で“ ”を選びます。
❷“ ▲▼ ”を押して“ 全コマプロテクト ”が“ 全コマ解除 ”を選びます。
❸“ MENU/OK ”ボタンを押します。

プロテクトされていても“ フォーマット ”するとすべて消去されます（➡79ページ）。

実行を確認する画面が表示されます。OKなら“ MENU/OK ”ボタンを押します。

! プロテクト操作を終了するには“ BACK ”ボタンを押し、メニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度“ BACK ”ボタンを押してください。

スマートメディア™の誤記録防止について

ライトプロテクトシールをはると、画像の記録/消去・フォーマットができません。シールをはがすと通常どおり使用できます。

＊必ず専用のライトプロテクトシールⒶを、ライトプロテクトエリア内Ⓑに、はみ出さないようにしっかりとはってください。はがしたシールの再利用はできません。
＊シールの端で手を切らないようにご注意ください。
＊シールが汚れていると、誤記録防止されないことがあります。

再生メニュー DPOFについて

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をスマートメディアなどに記録するときの形式です。

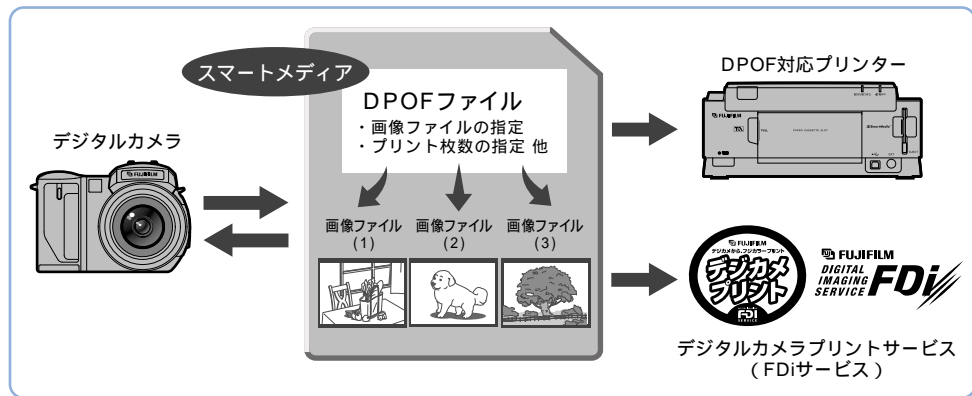
デジタルカメラ

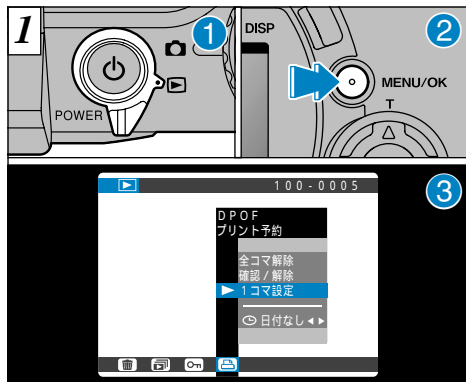
スマートメディア

DPOFファイル
・画像ファイルの指定
・プリント枚数の指定 他

画像ファイル（1）
画像ファイル（2）
画像ファイル（3）

DPOF対応プリンター

デジタルカメラプリントサービス
（FDiサービス）

- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では上記の情報をカメラの操作でスマートメディアに記録することができます。
- DPOF情報を記録したスマートメディアを、フジフイルム デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

日付設定

プリントに撮影した日付を入れるか入れないかを選べる機能です。

❶モードレバーを“ ▶ ”に合わせます。

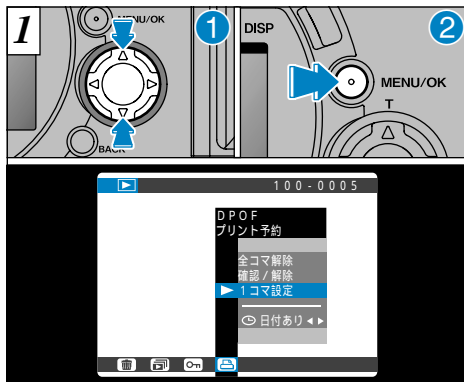
❷“ MENU/OK ”ボタンを押してメニューを表示します。

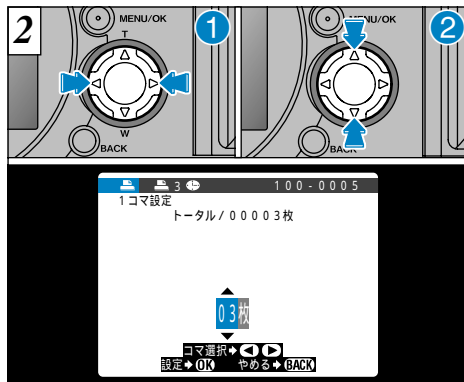
❸“ ▶ ”を押して“ 🖶 ”を選びます。

❶“ ▼ ”で“ ◷日付なし ”を選びます。

❷“ ◀▶ ”で“ 日付あり ”か“ 日付なし ”が設定できます。その後、設定を変更するか、電源を切るまで有効です。

！ムービーファイルはDPOF指定できません。

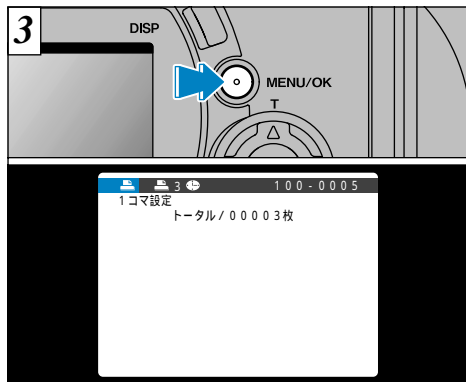
！他の設定の前に必ず日付あり/なしの設定を行ってください。

1コマ設定

❶“ ▲▼ ”で“ 1コマ設定 ”を選びます。
❷“ MENU/OK ”ボタンを押します。

❶“ ◀▶ ”で設定するコマを表示させます。
❷“ ▲▼ ”でプリント枚数を指定します。

確定したコマには“ 🖶 ”と“ プリント枚数 ”、日付設定ありの場合は“ ◷ ”が表示されます。

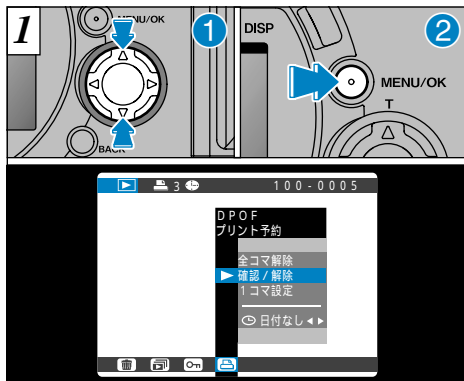
! “ ◀▶ ”でコマを送ると自動的に設定が決定されます。

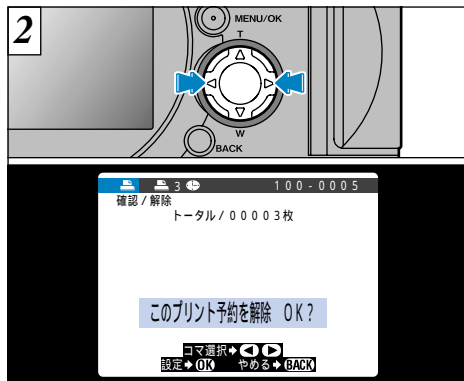
1コマ設定を続けるには、❶❷の操作を繰り返します。

! 1コマ設定の前に必ず日付あり/なしを設定してください。

〈実行する場合〉
設定が終わったら、必ず“ MENU/OK ”ボタンを押して決定してください。画面にトータル枚数が表示され、メニューに戻ります。

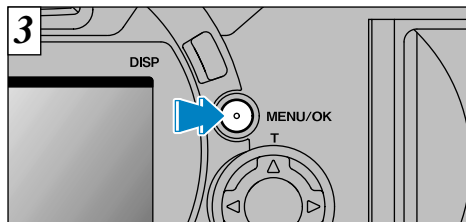
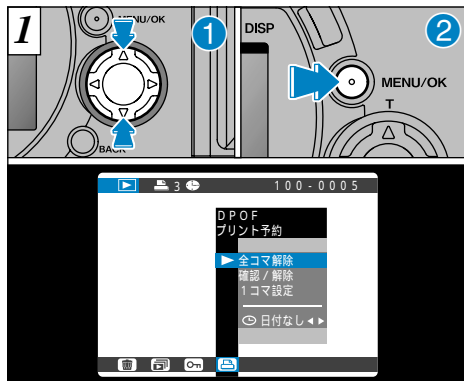
〈キャンセルする場合〉
“ BACK ”ボタンを押すと、選択中のコマの設定のみキャンセルされます。選択中のコマ以外の設定はキャンセルされません。

❗指定できるプリント枚数は1コマにつき99枚までです。また、同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。
❗“ トータル ”は指定したプリント枚数の合計です。

4

確認/解除

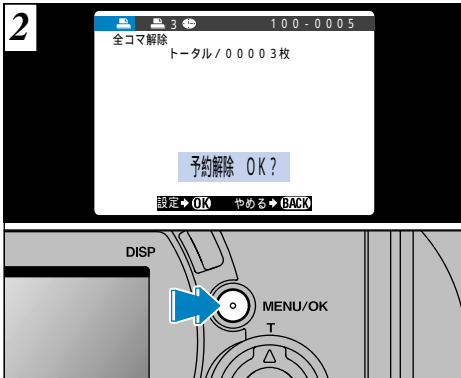
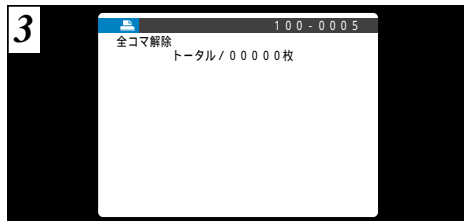
❶" ▲▼ "で" 確認/解除 "を選びます。
❷" MENU/OK "ボタンを押します。

" ◀▶ "を押すと、プリント枚数設定をしたコマだけが再生され、各コマの設定を確認できます。

❗画像を選ぶときはマルチ再生（➡35ページ）すると便利です。

❗確認/解除をやめたい場合は、" BACK "ボタンを押しメニューに戻ります。メニューを終了するにはもう一度" BACK "ボタンを押してください。

プリント設定を解除するには解除したい画像を表示し、“ MENU/OK ”ボタンを押します。プリント設定の解除が終わると次の画像が再生され“ このプリント予約を解除 OK？ ”が表示されます。

❶“ ▲▼ ”で“ 全コマ解除 ”を選びます。
❷“ MENU/OK ”ボタンを押します。

すべてのプリント設定が解除されている場合“ トータル ”は“ 00000枚 ”になり、背景が青い画面になります。

プリント設定の解除を続けるには、2、3の操作を繰り返します。

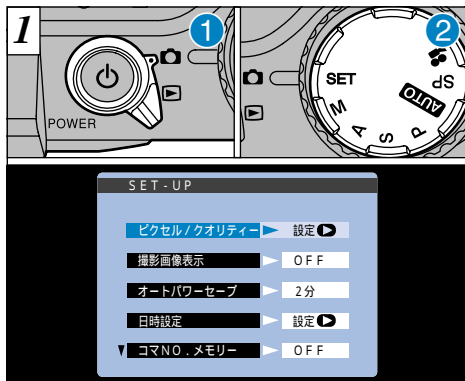
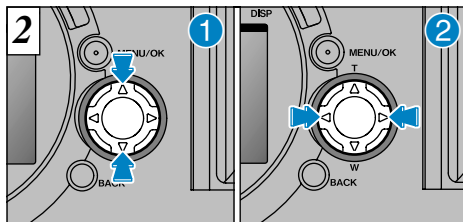
全コマ解除

実行を確認する画面が表示されます。実行するには“ MENU/OK ”ボタンを押します。

画面にトータル枚数“ 00000枚 ”が表示され、その後メニューに戻ります。

設定編では

設定編では、モードダイヤルの“ SET ”で行える機能をご紹介します。

■SET−UPメニュー一覧

項　目	表　示	工場出荷時	内　　容
ピクセル/クオリティー	設定▶	1M・NORMAL	記録するピクセル（画像サイズ）/クオリティー（圧縮率）を設定できます。詳しくは95ページ参照。
撮影画像表示	OFF/ON/プレビュー	OFF	撮影後にプレビュー画面（撮影結果）を表示するかどうかを設定できます。詳しくは96ページ参照。
オートパワーセーブ	2分/5分/OFF	2分	何も操作していないときに消費電力を抑え、その後、自動的に電源を切るかどうか設定できます。詳しくは98、110ページ参照。
BEEP♪	LOW/HIGH/OFF	LOW	操作したときの“ ピッ ”の音量を切り換えます。
日時設定	設定▶	―	日付、時刻を設定できます。詳しくは20ページ参照。
コマNO.メモリー	ON/OFF	OFF	コマNO.メモリー機能を使用するかしないかを切り換えます。詳しくは99ページ参照。
オールリセット	実行▶	―	日時設定、カスタムホワイトバランス、EVF/LCD、カメラカスタマイズの設定を除く、すべての設定を工場出荷設定にリセットします。“ ▶ ”を押すと確認画面が表示されるので、よければもう一度“ MENU/OK ”ボタンを押してください。

SET セットアップ画面の操作

❶モードレバーを“ 📷 ”に合わせます。
❷モードダイヤルを“ SET ”に合わせSET−UP画面を表示します。

❶“ ▲▼ ”で項目を選択します。
❷“ ◀▶ ”で設定を変更できます。

! バッテリーを交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けたりACパワーアダプターを抜くと、各種設定が工場出荷設定に戻ることがあります。

! “ピクセル/クオリティー”“日時設定”“オールリセット”は“ ▶ ”を押します。

SET ピクセル（画像サイズ）/クオリティー（圧縮率）

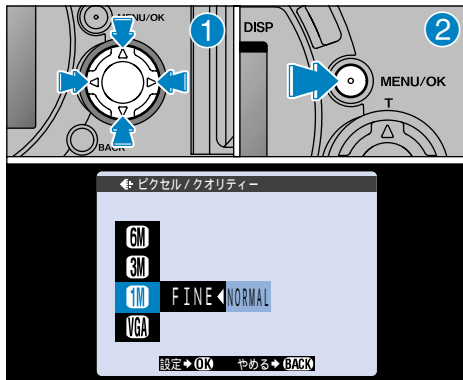
4種類のピクセルと、4種類のクオリティーの組み合わせを選べます。下記の表を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

画像サイズ	HI	FINE	NORMAL	BASIC
6M（2832×2128）	❶	❶	❶	❷
3M（2048×1536）	ー	❷	❷	ー
1M（1280×960）	ー	❸	❸	ー
VGA（640×480）	ー	ー	❹	ー

❶：A4サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA5/A6サイズ程度でプリントする場合。
❷：A5サイズ程度でプリントする場合や、画像の一部をトリミングしてA6サイズ程度でプリントする場合。
❸：A6サイズ程度でプリントする場合。
❹：eメールの画像添付用などインターネットで使用する場合

クオリティー（圧縮率）について

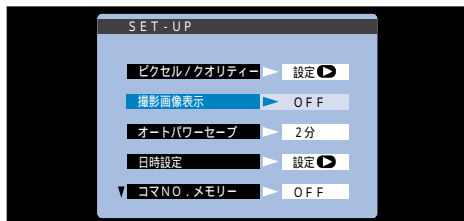
画質を優先する場合は“ HI ”または“ FINE ”を、枚数を優先する場合は“ BASIC ”を選んでください。通常は、“ NORMAL ”で十分な画質が得られます。

❗“ HI ”のときは他のクオリティーより記録時間が長くなります。

❶“ ▲▼ ”でピクセル設定を変更し、“ ◀▶ ”でクオリティー設定を変更します。
❷“ MENU/OK ”ボタンを押して決定します。

❗ピクセルとクオリティーの組み合わせは、全部で9種類になります（➡27ページ）。

モードレバーが“ 📷 ”では（🎥を除く）“ SHIFT ”ボタンを押しながら“ ⚡ ”ボタンを押すと設定画面になります。

5

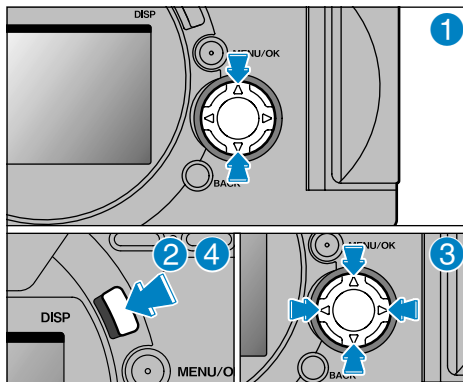
SET 撮影画像表示

撮影後に撮影結果を表示するかどうか設定できます。

OFF　　　：撮影結果は表示されず、自動的に記録されます。

ON　　　：撮影結果が一定時間表示され、自動的に記録されます。

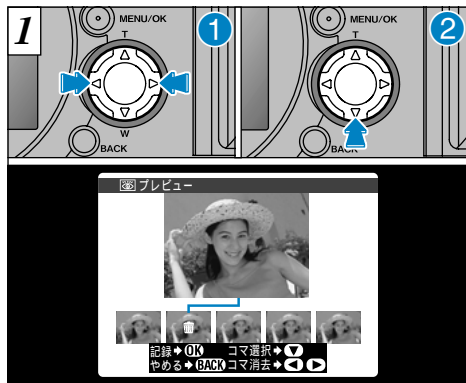
プレビュー：撮影結果が表示され、記録するかどうか選べます。
また、プレビューズームや記録画像の選択が可能です。
- **記録する場合“ MENU/OK ”**
- **記録しない場合“ BACK ”**

! 連写、オートブラケティングでは“ OFF ”に設定しても一定時間表示され、自動的に記録されます。

プレビューズーム

プレビューを拡大して細部の確認ができます。

❶“ ▲▼ ”でズームします。
❷“ DISP ”ボタンを押します。
❸“ ▲▼◀▶ ”で、見える範囲を移動できます。
❹もう一度、“ DISP ”ボタンを押すとズームに戻ります。

! プレビューではトリミング保存されません。
! 再生ズーム（➡33ページ）と操作は同じです。

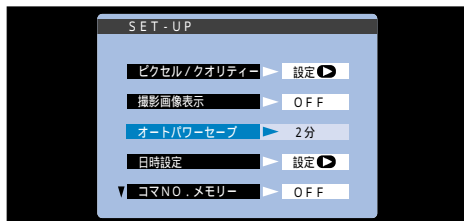
記録画像の選択

連写・オートブラケティングでは画像を選んで記録できます。ただしプレビューズームはできません。

❶“ ◀ ▶ ”で記録しない画像を選びます。

❷“ ▼ ”で“ 🗑 ”マークが表示/非表示されます。

記録しない画像すべてに“ 🗑 ”マークを表示し、“ MENU/OK ボタンを押して画像を記録します。

5

SET オートパワーセーブ設定

本機能を有効にすると、約30秒間操作をしないと一時的に画面などを消し、消費電力を抑えます（スリープ）。その後、しばらく放置（2分または5分）すると自動的に電源が切れます。バッテリー駆動時間をできるだけ長くしたいときに使用します。

スリープしているときに、シャッターボタンを半押しすると、撮影可能状態に復帰します。電源をON/OFFするよりも、素早く撮影可能になるので便利です。

! オートプレイとUSB接続時はオートパワーセーブは無効になります。

セットアップと再生モードではスリープは機能しませんが、しばらく放置（2分または5分）すると自動的に電源が切れます。

! シャッターボタン以外のボタンでも復帰できます。

SET コマNO.メモリー設定

A、Bともにフォーマットされたスマートメディアを使用した場合

OFF：スマートメディアごとに「ファイルNo.0001」から撮影

ON　：最後に使用したスマートメディアの「最終ファイルNo.」から続けて撮影

“ ON ”にすると、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

画像を再生するとファイルNo.を確認できます。画面の右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、上3けたはフォルダーNo.です。

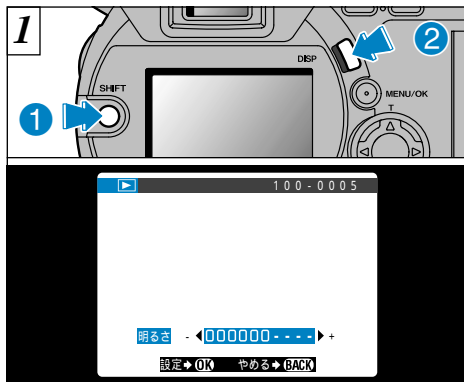
! 記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像がスマートメディアにあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。

! スマートメディアを交換するときは、必ず電源を切ってからスロットカバーを開けてください。電源を切らずにスロットカバーを開けると、コマNO.メモリーが機能しません。

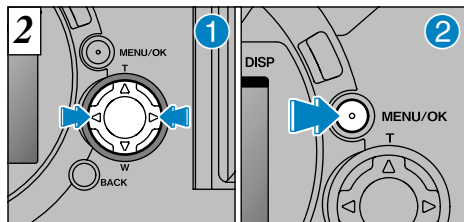
! ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダーNo.が1つ繰り上がります。最大で999−9999までカウントされます。

! コマNO.メモリーを“ OFF ”にすると、記憶した「最終ファイルNo.」がリセットされます。

! 他のカメラで撮影した画像は、コマNo.表示が異なる場合があります。

画面の明るさ調節

❶“ SHIFT ”ボタンを押しながら❷“ DISP ”ボタンを押すと“ 調節バー ”が表示されます。

●明るさ調節
モードレバーが“ 📷 ”“ ▶ ”のどちらでも調節できます。

液晶ファインダー・液晶モニターそれぞれの設定が可能です。

❶“ ◀▶ ”を押して画面の明るさを調節します。
❷“ MENU/OK ”ボタンを押して決定します。

❗設定を変更しない場合は“ BACK ”ボタンを押してください。

PC接続編では

PC接続編では、USB接続で利用できる機能の概要と接続方法を説明します。詳しくは別冊のソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

カードリーダー機能について

スマートメディアから簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます(➡102ページ)。

◆ムービーをパソコンで見るには◆

付属のFinePixViewerの使用をおすすめします。

※FinePixViewerを使用しない場合は、QuickTime3.0以降のソフトウェアまたはDirectX8.0ランタイム(Windowsの場合)が必要です。

別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照し、ドライバやソフトをインストールしてください。

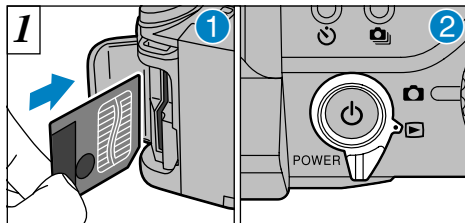
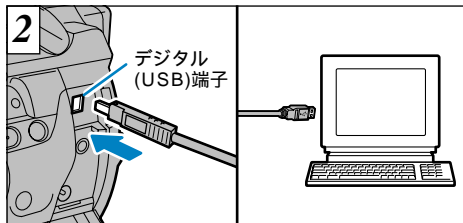
カメラカスタマイズについて

専用ソフトをダウンロードして使用すると下記の機能が利用できます(➡105ページ)。

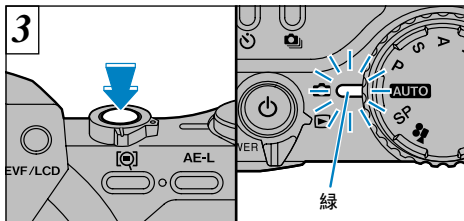
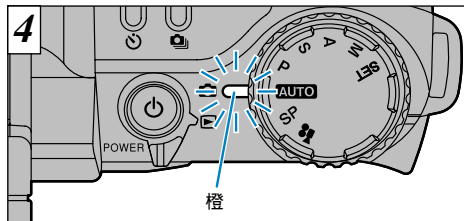
- オートプレイ(➡81ページ)の表示方法を追加します。
- 撮影した画像のExif情報にコピーライト(撮影者情報)を付加します。

カメラカスタマイズ専用ソフト(FinePix6900 Customizer)をダウンロードするには“FinePixViewer”でオンラインユーザー登録が必要です。詳しくは別冊のソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。
また、オンラインユーザー登録、ソフトのダウンロードを行うには、インターネット接続環境が必要です。

本製品ではPCカメラ機能がありませんので、付属のソフトウェアの下記機能が使用できません。
- PictureHelloでテレビ電話をする
- VideoImpressionでの“ライブ画像の取り込み”

パソコンと接続するには

❶撮影したスマートメディアをセットします。
❷モードレバーを“ ▶ ”に合わせます。

専用USBケーブルをカメラのデジタル（USB）端子に接続し、もう片方をパソコンに接続します。

別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照し、ドライバやソフトをインストールしてください。

! ACパワーアダプターの使用をおすすめします（➡16ページ）。

カメラの電源を入れると、パソコンにリムーバブルディスクとして認識され、インジケーターランプが緑色に点灯します。

パソコンと通信中はインジケーターランプが橙色に点灯します。通信中はスロットカバーを開けたり、他の操作をしないでください。

! パソコンと接続中はオートパワーセーブしません。

Windowsでドライバのインストールが開始された場合は別冊のソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

! パソコンと接続を切るには、104ページをご参照ください。

ファイルの読み出し、書き込みができます。またカメラカスタマイズができます(➡105ページ)。

パソコンと接続を切るには

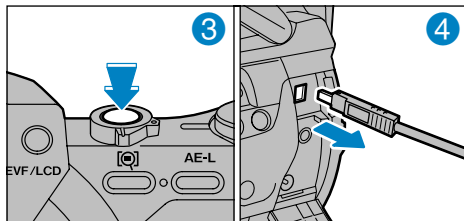
接続を切る前に必ず次の操作を行ってください。

❶インジケーターランプが緑色に点灯している(パソコンと通信していない)ことを確認します。

❷ご使用のパソコンを以下のOSの手順に従って操作します。続いて右の❸へ進みます。

●Windows 98の場合
インジケーターランプが緑色に点灯していることを確認します。

●Windows Me/2000 Professionalの場合
“FinePixViewer”を終了します。タスクバーの取り外しアイコンをクリックして、メディアの「取り外し」を行います。取り外しOKのメッセージを確認します。

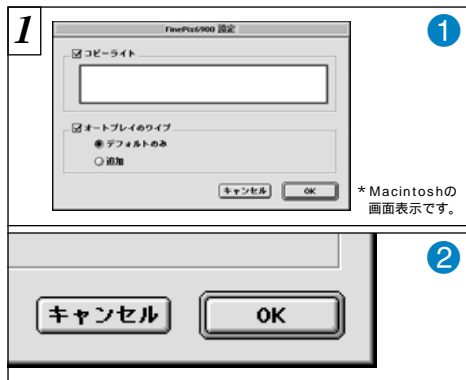
●Macintoshの場合
“FinePixViewer”を終了します。デスクトップの“リムーバブルドライブ”アイコンを“ゴミ箱”にドラッグ＆ドロップしてカメラの画面に“REMOVE OK”の表示を確認します。

❸カメラの電源を切ります。

❹カメラから専用USBケーブルを取り外します。

❗取り外し操作をしないでスマートメディアを取り出したり、ケーブルを抜いたりしないでください。

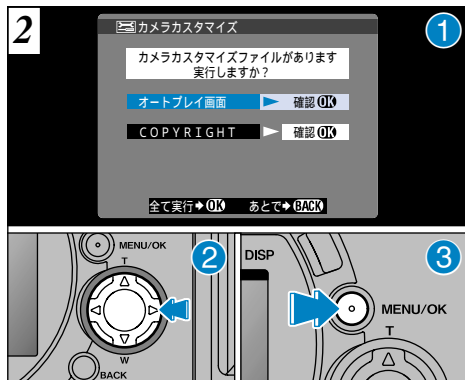
カメラカスタマイズ

1

＊Macintoshの画面表示です。

空き容量のあるスマートメディアをセットし、“カードリーダー”として接続します(➡102ページ)。

❶ダウンロードしたソフトウェア“FinePix6900 Customizer”を使用して追加する機能を設定します。

❷OKボタンを押してをスマートメディアに書き込みます。

カスタマイズの途中でスマートメディアを入れ換えないでください。

パソコンと接続を切り、専用USBケーブルを取り外します(➡104ページ)。

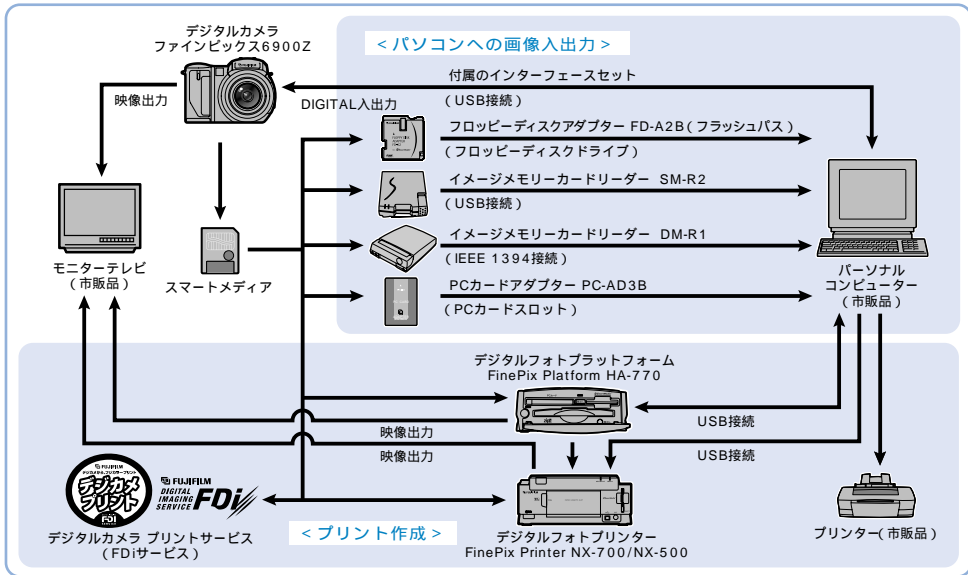
❶カメラの電源を入れると、カスタマイズ画面が表示されます。

❷“▶”を押すと内容を確認できます。

❸“MENU/OK”ボタンを押して実行します。

❗“あとで”を選んだ場合、電源を入れ直すとカスタマイズ画面が表示されます。

システムアップ機器（別売）（平成13年4月現在）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

コンバージョンレンズ/アダプターリングの紹介

ワイドコンバージョンレンズ　WL-FX9

ワイドコンバージョンレンズと、アダプターリングのセット。レンズのF値を変えずに焦点距離を0.79倍（広角：28mm相当）に変換します。また、ワイドコンバージョンレンズを外すと市販のフィルターを使用できます。

●ワイドコンバージョンレンズ仕様
倍率：0.79倍　レンズ構成：3群3枚
外形寸法：φ70mm×32mm　質量：約185g
付属品：アダプターリングAR-FX9（仕様は下記参照）
レンズキャップ（前後）、レンズポーチ

! 広角側（28mm〜46mm相当）での使用をおすすめします。望遠側ではゆがみが大きくなります。
! ワイドコンバージョンレンズ使用時は内蔵ストロボを併用できません。

アダプターリング　AR-FX9

市販のフィルターを使用する場合に必要です。

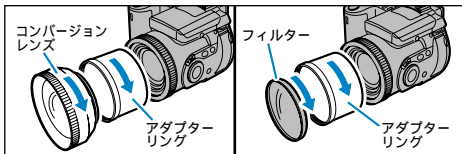
●アダプターリング仕様
使用できるフィルター：φ55mmの市販フィルター
外形寸法：φ58mm×39mm　質量：約30g

! フィルターを2枚以上重ねて使用しないでください。

テレコンバージョンレンズ　TL-FX9

レンズのF値を変えずに焦点距離を1.5倍に変換します。

●テレコンバージョンレンズ仕様
倍率：1.5倍　レンズ構成：3群3枚
外形寸法：φ65mm×55mm　質量：約100g
付属品：レンズキャップ（前後）、レンズポーチ

! 別途アダプターリングAR-FX9をご用意ください。
! テレ端での使用をおすすめします。広角側では画像のケラレが生じます。
! テレコンバージョンレンズ使用時は内蔵ストロボを併用できません。

アダプターリングとコンバージョンレンズ、市販フィルターは、矢印方向にねじ込んで取り付けます。

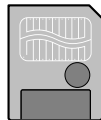
その他 別売アクセサリーの紹介（平成13年4月現在）

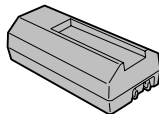
▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

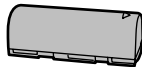
●イメージメモリーカード（スマートメディア™）

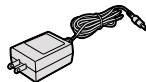
以下の種類がお使いいただけます。

- ●MG-4SB　：　4MB、3.3V仕様
- ●MG-8SB　：　8MB、3.3V仕様
- ●MG-16SB：16MB、3.3V仕様
- ●MG-32SB：32MB、3.3V仕様
- ●MG-　16SW：　16MB、3.3V仕様（ID付き）
- ●MG-　32SW：　32MB、3.3V仕様（ID付き）
- ●MG-　64SW：　64MB、3.3V仕様（ID付き）
- ●MG-128SW：128MB、3.3V仕様（ID付き）

＊3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。

●バッテリーチャージャー BC-80

充電式バッテリーを短時間で充電します。充電時間は約70分です（NP-80充電時）。
（AC100〜240V、50/60Hz 対応）

●充電式バッテリー NP-80

リチウムイオンタイプの高容量充電式電池です。

●ACパワーアダプター AC-5VH

長時間の撮影時、パソコンとの接続時にお使いください。
（AC100〜240V、50/60Hz対応）

パソコンでムービー再生をするには、QuickTime3.0以降のソフトウェアが必要です。また、ムービーファイルをハードディスクにコピーしてから再生してください。

●フロッピーディスクアダプター FD-A2B（FlashPath：フラッシュパス）

通常の3.5インチのフロッピーディスクと同じ形をしたアダプターです。
スマートメディアをフロッピーディスクアダプターに挿入し、フロッピーディスクドライブからスマートメディアの画像をパソコンに取り込むことができます。

- フロッピーディスクアダプター FD-A2対応OS
  Windows 95/98/98 Second Edition/Me（DOS/V機）
  Windows 95 4.00.950B OSR2以降/98（NEC PC-9821シリーズ）
  Mac OS7.6.1～9.1/Power Macintosh（読み込みのみ）

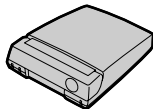
●デジタルフォトプラットフォーム FinePix Platform HA-770

スマートメディア、PCカード、Zip 3スロット装備し、デジタルカメラ画像のアルバム編集、再生機能搭載。パソコン、テレビ、プリンターに対応したマルチインターフェース。

- パソコン接続はUSBインターフェース（対応OS：Windows98 (Second Editionを含む) /Windows Me/Windows 2000 Professional、MacOS8.5.1～9.0.4）

●イメージメモリーカードリーダー DM-R1

イメージメモリーカード［スマートメディア、コンパクトフラッシュタイプ Ⅱ（マイクロドライブ対応）］からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。
IEEE1394インターフェースにより高速なファイル転送を行います。

- Windows98 Second Edition、Windows 2000 Professional（読み出し専用）、iMac DV、およびFireWireを標準装備するPower Macintosh、Mac OS8.5.1～9.0

●PCカードアダプター PC-AD3B

スマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。

●ソフトケース SC-FX9

合成皮革製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

用語の解説

AF/AEロック：このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。画面の端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。

JPEG（ジェイペグ）：Joint Photographic Experts Groupの略
カラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション　ジェイペグ）：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマット　AVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。QuickTime3.0～で再生できます。

オートパワーセーブ機能：電池の消耗や、ACパワーアダプター接続時のムダな電力消費を防ぐため、約30秒間操作をしないと画面などを消し（スリープ）、その後しばらくすると電源をOFFします。本機では2分または5分の設定ができます。
- セットアップでオートパワーオフを無効にした場合、またはオートプレイ時やUSB接続時は、オートパワーオフしません。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ。極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■砂がかからないようにしてください。

砂は本機の大敵です。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因となるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴（結露）がつくことがあります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、バッテリー、スマートメディアを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■海外で使うとき

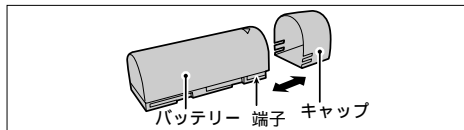
- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因となることがあります。

電源についてのご注意

バッテリーについてのご注意

このカメラは、充電式リチウムイオンバッテリーを使用しています。ご使用に際しては、以下の点にご注意ください。特に別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

＊NP-80は出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

- ご使用になるときは、必ずキャップを外してください。
- バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるかキャップをお使いください。
- バッテリーを保管するときは、キャップを付けて保管してください。

■バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では、撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。低温時に消耗した電池を使用すると、カメラが作動しない場合があります。

■充電について

- ACパワーアダプター AC-5V（付属または別売）を使用して、本体で充電ができます。使い切ったバッテリーの充電時間は約5時間です。別売のバッテリーチャージャー BC-80を使用すると、約70分でバッテリーを充電できます。
- このバッテリーは、充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電は周囲の温度が0℃～＋40℃の範囲で可能ですが、バッテリーの性能を十分に発揮させるためには、約＋10℃～＋30℃の範囲で充電してください。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、300回以上繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

保存上のご注意

リチウムイオンバッテリーは小型で高容量のバッテリーですが、充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。

- しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 長期間保存する場合は、年に一回程度充電した後、使い切ってから保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。付けたままにしておくと、電源が切れていても微少電流が流れていますので、過放電になり使用できなくなる恐れがあります。
- キャップを付けて、涼しいところで保存してください。
  - ・周囲の温度が＋15℃～＋25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - ・暑いところや極端に寒いところは避けてください。

危険ですので、次のことにご注意ください

⚠バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。
⚠火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
⚠分解したり、改造したりしないでください。

壊れたり、寿命が短くなったりしますので、次のことにご注意ください

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。

バッテリーの特性に合わせて上手にお使いいただくために、次のことにご注意ください

- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 温度が上がらない、乾燥した場所に保管してください。長期間高温の場所に置いておくと寿命が短くなります。

長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生にはACパワーアダプターをお使いください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

このマークは小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーなど）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

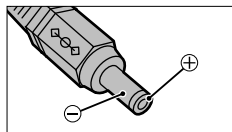
このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

主な仕様（NP-80）

公称電圧	3.7V
公称容量	1300mAh
使用温度	0℃～＋40℃
本体外形寸法	19.8mm×20.4mm×55.5mm
質量	約40g

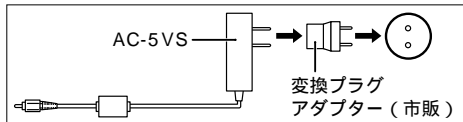
＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

電源についてのご注意

ACパワーアダプターについてのご注意

本機には、必ず専用のACパワーアダプター AC-5V（EIAJ規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。
弊社専用以外のACパワーアダプターをお使いになると本機の故障の原因となることがあります。

- ●室内専用です。
- ●カメラのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- ●カメラのDC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源スイッチを切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ●本機は、指定の機器以外には使用しないでください。
- ●使用中、本機が熱くなるときがありますが故障ではありません。
- ●分解したりしないでください。危険です。
- ●高温多湿のところでは使用しないでください。
- ●落としたり、強いショックを与えないでください。
- ●内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ●ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

海外へお持ちになる方へ

本体にある定格表示が、AC-100V～240V、50/60Hzと表示されているACパワーアダプターは、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地様々ですので、お出かけ前には旅行代理店などでお確かめください。

本機を海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに接続しますと、故障することがありますので、ご使用にならないでください。

主な仕様（AC-5VS）

電　源	AC 100V～240V、 50/60Hz
定格入力容量	16VA～20VA（入力100V～240V、定格出力時）
定格出力	DC 5V、1.5A
使用温度	0℃～＋40℃
保存温度	－10℃～＋70℃
最大外形寸法	47mm×20mm×72mm（幅/高さ/奥行き）
質　量	約120g
接続コード長さ	約2m

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

スマートメディア™についてのご注意

■スマートメディアについて

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体SmartMedia（スマートメディア）です。スマートメディアの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像データが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像データを消去したり、再び記録することができます。

■ID付きスマートメディアについて

SmartMedia ID（ID付きSmartMedia）は、スマートメディア個々に（ID）番号を割り振ったもので、IDを利用した著作権保護、その他の仕組みを持つ機器で使用できます。本機では、従来のスマートメディアと同様に使用できます。

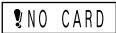
■データ保持について

以下の場合、記録したデータが消滅（破壊）することがあります。記録したデータの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき
＊スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき
＊スマートメディアに記録動作中・消去（フォーマット）動作中に、スマートメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、フロッピーディスク、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意

- スマートメディアに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- スマートメディアの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定された以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因となります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- スマートメディアの接触面（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気に

スマートメディア™についてのご注意

よる影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。

- 静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- スマートメディアには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
- インデックスエリアには、付属のインデックスラベルをはってください。市販のラベルなどは、はらないでください。スマートメディアの出し入れの際、故障の原因になります。
- インデックスラベルは、ライトプロテクトエリアにかからないように、はってください。
- 万一、当社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいスマートメディアとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのスマートメディアを使って撮影する場合、スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
- スマートメディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダーが作成されます。画像データは、このフォルダー内に記録されます。
- パソコンでスマートメディアのフォルダー名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなることがあります。
- スマートメディア上の画像データの消去はカメラで行ってください。
- 画像データを編集する場合は、画像データをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像データを編集してください。

主な仕様

形　　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード SmartMedia（スマートメディア）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	37mm×45mm×0.76mm（幅/高さ/厚み）

警告表示

▶画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
(バッテリー表示)（赤点灯）	カメラのバッテリーの容量が少ない。	バッテリーを交換するか、充電してください。
NO CARD	スマートメディアが入っていない、または入れている向きが間違っている。	スマートメディア（3.3V仕様）を正しい向きにセットしてください。
CARD NOT INITIALIZED	●スマートメディアがフォーマット（初期化）されていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●カメラが故障している。	●スマートメディアをフォーマットしてください。 ●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。 ●弊社サービスステーションにお問い合わせください。
CARD ERROR	●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●スマートメディアのフォーマットが異常。 ●カメラが故障している。	●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。 ●弊社サービスステーションにお問い合わせください。
CARD FULL	スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるスマートメディアを使用してください。
PROTECTED CARD	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態になっていないスマートメディアを使用してください。

警告表示

警告表示	警告内容	処　　置
READ ERROR	●正常に記録されていないデータを再生した。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●カメラが故障している。	●再生することはできません。 ●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。 ●弊社サービスステーションにお問い合わせください。
FILE NO. FULL	コマNo.が999―9999に達している。	コマNO.メモリー機能をOFFにして、フォーマットしたスマートメディアに撮影してください。
WRITE ERROR	●スマートメディアと本体の接触異常またはスマートメディアの異常のため記録できない。 ●撮影した画像がスマートメディアの空き容量を超えて記録できない。	●スマートメディアを入れ直すか電源のON（入）/OFF（切）を繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションにお問い合わせください。 ●新しいスマートメディアを使用してください。
	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボ撮影する。ただし撮影シーンやモードによっては三脚を使用してください。
プロテクトされています	プロテクトされているコマを消去しようとした。	プロテクトを解除してください。
AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	• 暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 • AFロック撮影をしてください。
絞り・シャッタースピード表示（赤点灯）	AE連動範囲外。	撮影できますが、適正露出ではありません。

警告表示	警告内容	処　　置
プリント予約されています　このコマを消去しますか？ プリント予約されています　全コマ消去しますか？	削除しようとした画像はプリント指定されている。	画像を削除すると、DPOF指定項目からも同時に設定が削除されます。
プリント予約再設定OK？	DPOFファイルにエラーがある。または他の機器で設定したDPOFファイルである。	DPOFファイルを新しく作成し、DPOF設定をすべてやり直す場合は“ MENU/OK ”ボタンを押してください。
! DPOF FILE ERROR	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。999コマ以下にしてください。
! ZOOM ERROR ! FOCUS ERROR	カメラが誤作動または故障している。	• レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 • 電源のON（入）/OFF（切）を繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションにお問い合わせください。

故障とお考えになる前に

▶故障と思う前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションにお問い合わせください。

症　　状	原　　因	処　　置
電源が入らない。	●バッテリーが消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	●充電済みのバッテリーと交換する。 ●電源プラグをコンセントに差し込む。
電源が途中で切れる。	●バッテリーが消耗している。	●充電済みのバッテリーと交換する。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●バッテリーの寿命。	●バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。 ●バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふく。 ●新しいバッテリーと交換する。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●スマートメディアが入っていない。 ●スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 ●スマートメディアがフォーマットされていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●オートパワーセーブになり、電源が切れた。	●スマートメディアを入れる。 ●新しいスマートメディアを入れるか、コマを消去する。 ●誤記録防止状態を解除する。 ●フォーマットする。 ●スマートメディアの接触面を乾いたきれいな布でふく。 ●新しいスマートメディアを入れる。 ●電源を入れる。

症　　状	原　　因	処　　置
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●バッテリーが消耗している。	●充電済みのバッテリーと交換する。
ストロボ撮影ができない。	●ストロボ発光禁止になっている。（ストロボが閉じている） ●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。	●ストロボをポップアップする（ストロボ撮影できないモードがある（➡39ページ）。モードを切り換える）。 ●充電が完了してからシャッターボタンを押す。
ストロボの充電ができない。	●記録できるスマートメディアが入っていない。 ●ストロボ発光禁止になっている。 ●バッテリーが消耗している。	●新しいスマートメディアを入れる、コマを消去する、誤記録防止状態を解除する。 ●ストロボをオート、赤目軽減または強制発光にする。 ●充電済みのバッテリーと交換する。
ストロボが発光したのに再生画面が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボに指がかかっている。	●被写体に近づく。 ●カメラを正しく構える。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●マクロで遠景を撮影した。 ●暗い被写体を撮影した。	●レンズを清掃する。 ●マクロを解除する。 ●被写体から2m程度離れて撮影する。
画像に点状のノイズがある。	●1/4秒より長いシャッタースピードで撮影した。	●CCDの特性によるもので故障ではありません。
スマートメディアのフォーマットができない。	●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	●誤記録防止状態を解除する（ライトプロテクトシールをはがす）。

故障とお考えになる前に

症　　状	原　　因	処　　置
全コマの消去で、すべてのコマが消せない。	●コマがプロテクトされている。	●プロテクトを解除する。
カメラのレバーやダイヤルを操作しても作動しない。	●カメラの誤作動。 ●モードレバー、モードダイヤルの設定位置がずれている。 ●バッテリーが消耗している。	●電源（バッテリー）をいったん取り外して、再び取り付け直してから操作する。 ●モードレバー、モードダイヤルを正しい位置に設定する。 ●充電済みのバッテリーと交換する。
テレビに画像が出ない。	●カメラとテレビの接続が間違っている。 ●テレビの入力が「テレビ」になっている。	●正しく接続する。 ●テレビの入力を「ビデオ」にする。

主な仕様

システム

- **型式：**デジタルカメラ
- **記録メディア：**スマートメディア（3.3V仕様）
- **記録方式**
  静止画：DCF準拠（Exif Ver.2.1 JPEG準拠）/ DPOF対応
  動　画：DCF準拠（AVI形式 Motion JPEG）
- **記録画素数（ピクセル）**
  2832×2128/2048×1536/1280×960/640×480
  ハニカム信号処理により最大603万画素
- **撮像素子：**1/1.7型スーパーCCDハニカム
  原色フィルター採用（総画素数：ハニカム配列の330万画素、有効画素数：301.5万画素）
- **撮像感度：**ISO 100、200、400相当
- **レンズ：**スーパーEBC フジノン光学式6倍ズームレンズ
- **焦点距離**
  7.8mm～46.8mm
  （35mmカメラ換算：約35mm～約210mm相当）
- **ファインダー：**0.55型11万画素液晶ファインダー
- **露出制御：**TTL64分割測光、プログラムAE（AUTO・SP・P・S・A）、マニュアル撮影
- **ホワイトバランス**
  AUTO・SP　：フルオート
  P・S・A・M：8ポジション設定可能
  カスタムホワイトバランス設定可能（2ポジション）

- **スマートメディア標準撮影枚数**
  撮影枚数は被写体により多少の増減があります。かつ、撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	6M 2832×2128				3M 2048×1536		1M 1280×960		VGA 640×480	ムービー
クオリティー	HI	FINE	NORMAL	BASIC	FINE	NORMAL	FINE	NORMAL	NORMAL	―
画像1枚のファイルサイズ	約17720KB	約2400KB	約1200KB	約460KB	約1300KB	約590KB	約620KB	約320KB	約90KB	―
MG-4S（4MB）	0	1	3	8	2	6	6	12	44	約23秒
MG-8S（8MB）	0	3	6	17	6	13	12	25	89	約47秒
MG-16S（16MB）	0	6	13	33	12	26	25	49	163	約94秒
MG-32S（32MB）	1	13	28	68	25	53	50	99	330	約191秒
MG-64S（64MB）	3	26	56	137	50	107	101	198	663	約385秒
MG-128S（128MB）	7	53	113	275	102	215	204	398	1330	約774秒

主な仕様

●**撮影可能範囲**
標　準：約50cm～無限遠
マクロ：約10cm～約80cm

●**シャッター**
AUTO・SP　：可変速　3秒～1/2000秒（メカニカルシャッター併用）
P・S・A・M：可変速　3秒～1/1000秒（メカニカルシャッター併用）

●**絞り**：F2.8～F11　1/3EVステップ　13段
●**フォーカス**：TTLコントラスト方式　オート/マニュアル
●**セルフタイマー**：タイマー時間　約2秒/約10秒
●**消去方式**：1コマ消去・全コマ消去・フォーマット（初期化）
●**液晶モニター**：2型　13万画素　低温ポリシリコンTFT
●**ストロボ**：調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離　広角：約0.3m～約3.6m
望遠：約0.9m～約3.2m（AUTO時）
発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/スローシンクロ/赤目軽減＋スローシンクロ

入・出力端子

●**VIDEO OUT端子**：ステレオミニ（φ3.5mm）ジャック
●**デジタル（USB）端子**：パソコンへのファイルの転送
●**DC入力端子**：専用ACパワーアダプター AC-5V接続
●**アクセサリーシュー**：ホットシュー

電源部、その他

●**電源**：充電式バッテリーNP-80（付属）または専用ACパワーアダプターAC-5V使用

●**バッテリー作動可能枚数（フル充電時）**：

電池の種類		撮影枚数	オートプレイ
NP-80	液晶モニター使用時	約100枚	約1時間
	液晶ファインダー使用時	約120枚	約1時間

常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる枚数の目安です。ただし、カメラの使用環境温度やバッテリー充電量のバラツキによる変動があります。低温時では作動可能枚数/時間が少なくなります。

●**使用条件**
温度0℃～＋40℃　湿度80%以下（結露しないこと）

●**本体外形寸法**
110mm×78.5mm×93.5mm（幅/高さ/奥行き）
＊付属品、突起部含まず

●**本体質量**
約410g（付属品、バッテリー、スマートメディア含まず）
●**撮影時質量**：約450g（バッテリー、スマートメディア含む）
●**付属品**：5ページをご覧ください。
●**別売アクセサリー**：106～109ページをご覧ください。

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニター、液晶ファインダーは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

■それでも調子が悪いときはサービスステーションへ

お買上げ店、または弊社サービスステーションにご相談ください。

■保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■修理ご依頼に際してのご注意

- 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用はお客様にてご負担願います。
- お買上げ店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
- 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
- 修理料金が高く見込まれる修理のときは、「○○○○円以上は連絡してほしい」と料金をご指定ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
- 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
- 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱に入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
- 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常7～14日位をご予定ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

■型名　　　：ファインピックス6900Z
■故障の状況：できるだけ詳しく
■ご購入年月日